

年 度	令和6年度
学 科	東洋療法教員養成学科
開 講 科 目 名	臨床医学論(講義)
担 当 教 員	井田直子
カ リ キ ュ ラ ム 名	臨床医学論
単 位 数 (時 間 数)	2(30)
配 当 年 次	1年次
部	昼間部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	前期
授 業 概 要 ・ 目 的	臨床においてよく遭遇する疾患について、その原因や症候・病態・合併症・治療法を学ぶ。生理学や病理学とも関連し、総合的な観点から疾患の理解に努める。
到 達 目 標	各疾患の病態のメカニズムについて、生理学・病理学の知識を基盤として理解できる。またそれを、平易な言葉で説明できる。
成績評価方法及び基準	【全科目共通事項】 必要出席数『学生のしおり』I 教務(授業) 10試験について【必要出席数】』に準ずる。 評価はレポート提出による。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『学生のしおり』Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教育・実務業績	1、担当科目における教育上の業績 平成21～令和5(2009～2023)年度 平成医療学園にて衛生学・公衆衛生学、臨床医学各論などを担当。 令和3・4(2022/2023)年度 明治国際医療大学にて臨床医学各論講義を担当。

1 項	目	感染症①
学習目標・ポイント		ウイルス感染症と薬剤耐性菌について学習する
使用する材料		教科書・配布資料
備考		
2 項	目	感染症②
学習目標・ポイント		パンデミックとワクチン、鳥インフルエンザ・SARSの病態を学習する
使用する材料		教科書・配布資料
備考		
3 項	目	感染症③
学習目標・ポイント		食中毒について学習する
使用する材料		教科書・配布資料
備考		
4 項	目	消化器疾患①
学習目標・ポイント		食道がん・胃がんについて学習する
使用する材料		教科書・配布資料
備考		
5 項	目	消化器疾患②
学習目標・ポイント		炎症性腸疾患と大腸がんについて学習する
使用する材料		教科書・配布資料
備考		
6 項	目	消化器疾患③
学習目標・ポイント		ウイルス性肝炎・肝硬変の病態を学習する
使用する材料		教科書・配布資料
備考		
7 項	目	消化器疾患④
学習目標・ポイント		胆道膵臓疾患について学習する。
使用する材料		教科書・配布資料
備考		
8 項	目	呼吸器疾患①
学習目標・ポイント		結核・肺抗酸菌症・呼吸器感染症について学習する
使用する材料		教科書・配布資料
備考		
9 項	目	呼吸器疾患②
学習目標・ポイント		COPDと気管支喘息の病態を学習する
使用する材料		教科書・配布資料
備考		
10 項	目	呼吸器疾患③
学習目標・ポイント		肺がんの病態を学習する
使用する材料		教科書・配布資料
備考		
11 項	目	腎疾患①
学習目標・ポイント		糸球体腎炎・IgA腎症について学習する
使用する材料		教科書・配布資料
備考		
12 項	目	腎疾患②
学習目標・ポイント		CKDと慢性腎不全・透析療法について学習する
使用する材料		教科書・配布資料
備考		
13 項	目	腎疾患③
学習目標・ポイント		腎泌尿器系のがんの病態を学習する
使用する材料		教科書・配布資料
備考		
14 項	目	代謝性疾患①
学習目標・ポイント		糖尿病の病態や予防法を学習する
使用する材料		教科書・配布資料
備考		
15 項	目	代謝性疾患②
学習目標・ポイント		糖尿病合併症について学習する
使用する材料		教科書・配布資料
備考		

年 度	令和6年度
学 科	東洋療法教員養成学科
開 講 科 目 名	臨床医学論(演習)
担 当 教 員	井田直子
カ リ キ ュ ラ ム 名	臨床医学論
単 位 数 (時 間 数)	2(30)
配 当 年 次	1年次
部	昼間部
授 業 形 態	演習
開 講 期 間	後期
授 業 概 要 ・ 目 的	臨床においてよく遭遇する疾患について、その原因や症候・病態・合併症・治療法を学ぶ。 生理学や病理学とも関連し、総合的な観点から疾患の理解に努める。
到 達 目 標	各疾患の病態のメカニズムについて、生理学・病理学の知識を基盤として理解できる。またそれを、平易な言葉で説明できる。
成績評価方法及び基準	【全科目共通事項】 必要出席数『学生のしおり』I 教務(授業) 10試験について【必要出席数】』に準ずる。 演習(模擬授業)及びレポート提出により評価を行う。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『学生のしおり』Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教育・実務業績	(1400文字以内) 1. 担当科目における教育上の業績 平成21～令和5(2009～2023)年度 平成医療学園にて衛生学・公衆衛生学、臨床医学各論などを担当。 令和3・4(2022/2023)年度 明治国際医療大学にて臨床医学各論講義を担当。 2. 実務上の業績(臨床経験等) ※業績がない場合は記入不要です。 3. 研究業績

1 項 目	内分泌疾患①
学習目標・ポイント	主要な内分泌疾患の病態を学習する
使用する材料	教科書・配布資料
備考	
2 項 目	内分泌疾患②
学習目標・ポイント	主要な内分泌疾患の病態を学習する
使用する材料	教科書・配布資料
備考	
3 項 目	膠原病①
学習目標・ポイント	膠原病・アレルギー・自己免疫疾患の区別を理解する。
使用する材料	教科書・配布資料
備考	
4 項 目	膠原病②
学習目標・ポイント	主要な膠原病の病態を学習する
使用する材料	教科書・配布資料
備考	
5 項 目	膠原病③
学習目標・ポイント	膠原病類縁疾患の病態を学習する
使用する材料	教科書・配布資料
備考	
6 項 目	神経疾患①
学習目標・ポイント	脳血管疾患・脳腫瘍の病態を学習する
使用する材料	教科書・配布資料
備考	
7 項 目	神経疾患②
学習目標・ポイント	認知症の病態を学習する
使用する材料	教科書・配布資料
備考	
8 項 目	神経疾患③
学習目標・ポイント	パーキンソン病の病態を学習する
使用する材料	教科書・配布資料
備考	
9 項 目	循環器疾患①
学習目標・ポイント	心不全・不整脈の病態を学習する
使用する材料	
備考	
10 項 目	循環器疾患②
学習目標・ポイント	虚血性心疾患の病態を学習する
使用する材料	教科書・配布資料
備考	
11 項 目	循環器疾患③
学習目標・ポイント	弁膜症の病態を学習する
使用する材料	教科書・配布資料
備考	
12 項 目	血液疾患①
学習目標・ポイント	貧血・出血傾向の病態を学習する
使用する材料	教科書・配布資料
備考	
13 項 目	血液疾患②
学習目標・ポイント	白血病の病態を学習する
使用する材料	教科書・配布資料
備考	
14 項 目	その他の疾患
学習目標・ポイント	婦人科疾患の病態を学習する
使用する材料	教科書・配布資料
備考	
15 項 目	その他の疾患②
学習目標・ポイント	眼疾患・耳疾患の病態を学習する
使用する材料	教科書・配布資料
備考	

年 度	令和6年度
学 科	東洋療法教員養成学科
開 講 科 目 名	リハビリテーション医学(講義)
担 当 教 員	鍵 隆
カ リ キ ュ ラ ム 名	社会医学特論
単 位 数 (時 間 数)	2(60)
配 当 年 次	1年次
部	昼間部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	前期
授 業 概 要 ・ 目 的	鍼灸臨床を行う上で、客観的評価を行うことはとても重要である。 本講義において、主要な疾患に対する徒手検査、粗大動作から得られる情報をもとに病態を把握できるように知識・技術を得る。また、各疾患の運動療法についての知識を得る。
到 達 目 標	徒手検査、動作分析の知識技術、運動療法の方法について学生に指導できるようになることを目指す。
成績評価方法及び基準	【全科目共通事項】 必要出席数『学生のしおり』I 教務(授業) 10試験について【必要出席数】』に準ずる。 前期中間テスト50%、後期評価試験(授業内評価)50%を合わせて100%で評価を行う。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教 育 ・ 実 務 業 績	担当科目における教育上の業績 H18～23年4月 行岡リハビリテーション専門学校において理学療法研究論講義を担当 H18～現在 平成医療学園専門学校においてリハビリテーション医学を担当 実務上の業績(臨床経験等) 1、大阪府済生会中津病院リハビリテーションセンター勤務 約10年 2、医療法人 前田整形外科勤務 約17年 3、同法人関連整骨院 院長経験

1	項目	現代医学検査測定
	学習目標・ポイント	評価法概論、ジャクソン、スパーリング
	使用する材料	配布資料
	備考	理学療法評価法 鍼灸療法技術ガイド
2	項目	現代医学検査測定
	学習目標・ポイント	イトン、モーリー、ライト
	使用する材料	配布資料
	備考	鍼灸療法技術ガイド
3	項目	現代医学検査測定
	学習目標・ポイント	エデン、アドソン、ルース
	使用する材料	配布資料
	備考	鍼灸療法技術ガイド
4	項目	現代医学検査測定
	学習目標・ポイント	反射:上腕二頭筋、腕橈骨筋、上腕三頭筋、ROM:頸、筋力:上腕二頭筋、腕橈骨筋、上腕三頭筋
	使用する材料	配布資料
	備考	鍼灸療法技術ガイド
5	項目	現代医学検査測定
	学習目標・ポイント	ヤーガソン、ペインフルアーク、ドロップアーム
	使用する材料	配布資料
	備考	鍼灸療法技術ガイド
6	項目	現代医学検査測定
	学習目標・ポイント	ダウバーン、ニア・ホーキンス、肩アプリーヘンジョン
	使用する材料	配布資料
	備考	鍼灸療法技術ガイド、理学療法評価法
7	項目	現代医学検査測定
	学習目標・ポイント	トムゼン、逆トムゼン、ファーレン、アイヒホッフ
	使用する材料	配布資料
	備考	鍼灸療法技術ガイド
8	項目	現代医学検査測定
	学習目標・ポイント	ROM:肩、肘、手 筋力:浅指・深指屈筋、背側・掌側骨間筋、
	使用する材料	配布資料
	備考	鍼灸療法技術ガイド、徒手筋力検査法
9	項目	現代医学検査測定
	学習目標・ポイント	ニュートン、SLR、ブラガード、ラセーグ
	使用する材料	配布資料
	備考	鍼灸療法技術ガイド
10	項目	現代医学検査測定
	学習目標・ポイント	ボンネット、FNS、パトリック、トーマス
	使用する材料	配布資料
	備考	鍼灸療法技術ガイド
11	項目	現代医学検査測定
	学習目標・ポイント	反射:膝蓋腱、アキレス腱、ROM:腰、筋力:大腿四頭筋、腓骨筋、長母趾伸筋
	使用する材料	配布資料
	備考	鍼灸療法技術ガイド
12	項目	現代医学検査測定
	学習目標・ポイント	膝蓋跳動、膝蓋骨圧迫、膝蓋骨アプリーヘンジョン
	使用する材料	配布資料
	備考	鍼灸療法技術ガイド
13	項目	現代医学検査測定
	学習目標・ポイント	圧アプリー引アプリー、マックマレー、外反・内反ストレステスト
	使用する材料	配布資料
	備考	鍼灸療法技術ガイド
14	項目	現代医学検査測定
	学習目標・ポイント	前方・後方引き出しテスト、ラックマン、グラスピングテスト
	使用する材料	配布資料
	備考	鍼灸療法技術ガイド
15	項目	現代医学検査測定
	学習目標・ポイント	下肢アライメント、ステインマン、Nテスト、ROM:膝、
	使用する材料	配布資料
	備考	鍼灸療法技術ガイド

年 度	令和6年度
学 科	東洋療法教員養成学科
開 講 科 目 名	はりきゅう臨床学 I-1(講義)
担 当 教 員	酒井 良和
カ リ キ ュ ラ ム 名	はりきゅう臨床学 I
単 位 数 (時 間 数)	1(30)
配 当 年 次	1年次
部	昼間部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	前期
授 業 概 要 ・ 目 的	全身治療である経絡治療を客観的な指標で評価(点数化による)し、それらの総合点数により証を把握し治療することができる。
到 達 目 標	四診を理解・習得し、証決定からの治療ができる。また特定疾患に対する治療ができる。
成績評価方法及び基準	【全科目共通事項】 必要出席数『「学生のしおり」I 教務(授業) 10試験について【必要出席数】』に準ずる。 単位認定試験(授業内評価)で100%の評価を行う。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『「学生のしおり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教 育 ・ 実 務 業 績	担当科目における教育上の業績(1400文字以内) 1.昭和53年9月から平成20年3月(定年退職)まで明治東洋医学院専門学校において 鍼灸理論・鍼灸実技・東洋医学概論・臨床医学各論(特に消化器系) ・臨床実習・治療所実習を担当 2.平成20年4月から明治東洋医学院専門学校非常勤講師として 応用実技・経絡治療実技を担当 3.平成22年4月から履正社医療スポーツ専門学校非常勤講師として応用実技を担当 4.平成20年4月から森ノ宮医療学園専門学校非常勤講師として 東洋医学概論・主要症候に対する実技および平成30年4月から 応用鍼灸実技Ⅱを担当 5.平成25年4月から平成医療学園専門学校非常勤講師として応用実技Ⅰ/Ⅲ および令和2年4月からはりきゅう臨床学Ⅰを担当 実務上の業績 1.職務の内容 昭和50年から平成20年までの間。庶務課長・事務次長 〔全ての事務関係(入学試験、入学式、卒業式、書類関係等) 処理 教務主任・教務課長・教務次長・教務部長 〔教務全般の事務関係(試験、成績、シラバス、時間割り等)処理。 治療所長〔鍼灸・柔整附属治療所の患者管理・治療に関する処理・調整〕 2.臨床経験 昭和53年から平成20年3月まで明治東洋医学院専門学校附属治療所で 平成20年4月以降はさかい鍼灸院で治療に携わっています。 研究実績 証の客観化 問診情報のクラスター分析による蔵府の検討(会議録) 全日本鍼灸学会雑誌 (0285-9955)60巻3号 Page475(2010.05) 耳鳴患者の問診情報の分析(会議録) 全日本鍼灸学会雑誌 (0285-9955)60巻3号 教員養成学科における臨床教育実習の導入について(会議録) 全日本鍼灸学会雑誌 (0285-9955)56巻3号

1	項目	総論1
	学習目標・ポイント	診療の流れを習得する。
	使用する材料	
	備考	
2	項目	総論2
	学習目標・ポイント	症例からの診療の流れを習得する
	使用する材料	
	備考	
3	項目	問診
	学習目標・ポイント	問診表の使用法および舌診の臨床意義を習得する
	使用する材料	
	備考	
4	項目	舌診1
	学習目標・ポイント	舌診の内容を習得する
	使用する材料	
	備考	
5	項目	舌診2
	学習目標・ポイント	舌を観察(スケッチ)し、病態を習得する
	使用する材料	
	備考	
6	項目	脈診1
	学習目標・ポイント	脈診の内容を習得する
	使用する材料	
	備考	
7	項目	脈診2
	学習目標・ポイント	六部定位脈診をデモを通じて習得する
	使用する材料	
	備考	
8	項目	脈診3
	学習目標・ポイント	六部定位脈診からの脈証のパターンを習得する。(チェック含む)
	使用する材料	
	備考	
9	項目	腹診
	学習目標・ポイント	腹診の診方を習得する
	使用する材料	
	備考	
10	項目	背候診
	学習目標・ポイント	背候診の診方を習得する
	使用する材料	
	備考	
11	項目	診察の診方1
	学習目標・ポイント	問診・舌診・脈診・腹診・背候診を習得する
	使用する材料	
	備考	
12	項目	診察の診方2
	学習目標・ポイント	問診・舌診・脈診・腹診・背候診を習得する
	使用する材料	
	備考	
13	項目	切経
	学習目標・ポイント	撮診・原穴診の診方を習得する
	使用する材料	
	備考	
14	項目	証決定
	学習目標・ポイント	点数からの証決定を習得する
	使用する材料	
	備考	
15	項目	評価
	学習目標・ポイント	問診・舌診・脈診・腹診・背候診を評価する
	使用する材料	
	備考	

年 度	令和6年度
学 科	東洋療法教員養成学科
開 講 科 目 名	はりきゅう臨床学Ⅰ(講義)
担 当 教 員	古田大河
カ リ キ ュ ラ ム 名	はりきゅう臨床学Ⅰ
単 位 数 (時 間 数)	1(30)
配 当 年 次	1年次
部	昼間部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	後期
授 業 概 要 ・ 目 的	現代の鍼灸師の役割の一つとして、現代医学を補完することがあげられる。そのために必要なのは、現代医学について理解したうえで鍼灸師ができることを考え実行する能力である。医療として鍼灸臨床を行う際に必要な知識と技術について学び、臨床で必要となる思考方法についてグループワークを通じて訓練する。
到 達 目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・鍼灸臨床における診察、病態把握、治療方法をについて説明できる。 ・カルテを適切に記載することができる。 ・現代医学の中で鍼灸師としてできることはなにか説明することができる。
成 績 評 価 方 法 及 び 基 準	<p>【全科目共通事項】</p> <p>必要出席数『「学生のしおり」Ⅰ教務(授業) 10試験について【必要出席数】』に準ずる。</p> <p>平常点 30%、グループワーク 70% として評価する。</p>
履 修 に あ た っ て の 注 意 (受講者へのメッセージ)	<p>【全科目共通事項】</p> <p>『「学生のしおり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。</p>
教 育 ・ 実 務 業 績	<p>1. 担当科目における教育上の業績</p> <p>2013年5月～2018年3月まで 福島県立医科大学会津医療センター漢方医学講座助手として勤務。医学部にて鍼灸の講義・実習を担当。 2022年9月～ 明治東洋医学院専門学校に非常勤講師として勤務。教員養成課程の臨床実習を担当。</p> <p>2. 実務上の業績(臨床経験等)</p> <p>2013年5月～2018年3月まで 福島県立医科大学会津医療センター漢方医学講座助手として勤務。病棟および鍼灸外来にて鍼灸臨床を行う。 2018年4月～ のどか治療院勤務。在宅ケアの現場で鍼灸臨床を行う。 2020年9月～ 鍼灸MARU開業。在宅ケアの現場で鍼灸臨床を行う。</p> <p>3. 研究業績</p> <p>薬物性肝障害のために抗うつ薬中止を余儀なくされたうつ病患者に対する鍼治療. 全日本鍼灸学会雑誌, 2013, 63.2: 115-122.</p> <p>他 著書 共著: Q38 訪問鍼灸師, 在宅診療での治療の実際を教えてください. 寺澤佳洋 編, 鍼灸のことが気になったらまず読む本 Q&A 89, 中外医学社, (58-60).</p>

1	項目	医療としての鍼灸臨床
	学習目標・ポイント	現代医療の中での鍼灸師の在り方や、鍼灸治療の意義について理解する。
	使用する材料	資料を配布する。
	備考	
2	項目	カルテの構造と記載方法
	学習目標・ポイント	鍼灸臨床に必要なカルテの構造と記載方法について学習し、カルテを記載できるようになる。
	使用する材料	資料を配布する。
	備考	
3	項目	鍼灸師に必要な臨床推論と病態把握
	学習目標・ポイント	鍼灸臨床における臨床推論の技術について学び、病態把握の進め方について理解する。
	使用する材料	資料を配布する。
	備考	
4	項目	鍼灸師に必要な臨床推論と病態把握
	学習目標・ポイント	鍼灸臨床における臨床推論と病態把握について、模擬症例を通じて演習を行う。
	使用する材料	資料を配布する。
	備考	
5	項目	中医学における弁証論治
	学習目標・ポイント	中医学的な弁証論治の概要を理解し、模擬症例を通じて演習を行う。
	使用する材料	資料を配布する。
	備考	
6	項目	医療連携について
	学習目標・ポイント	鍼灸師に必要な他職種との医療連携の概要について学び、他職種への理解を深める。
	使用する材料	資料を配布する。
	備考	
7	項目	症例問題グループワーク①
	学習目標・ポイント	模擬症例を通じて、臨床推論、病態把握、弁証論治、鍼灸師ができること、他職種の役割についてグループで考え、発表を行う。
	使用する材料	資料を配布する。
	備考	
8	項目	症例問題グループワーク①解説
	学習目標・ポイント	模擬症例を通じて、臨床推論、病態把握、弁証論治、鍼灸師ができること、他職種の役割について理解を深める。
	使用する材料	資料を配布する。
	備考	
9	項目	症例問題グループワーク②
	学習目標・ポイント	模擬症例を通じて、臨床推論、病態把握、弁証論治、鍼灸師ができること、他職種の役割についてグループで考え、発表を行う。
	使用する材料	資料を配布する。
	備考	
10	項目	症例問題グループワーク②解説
	学習目標・ポイント	模擬症例を通じて、臨床推論、病態把握、弁証論治、鍼灸師ができること、他職種の役割について理解を深める。
	使用する材料	資料を配布する。
	備考	
11	項目	症例問題グループワーク③
	学習目標・ポイント	模擬症例を通じて、臨床推論、病態把握、弁証論治、鍼灸師ができること、他職種の役割についてグループで考え、発表を行う。
	使用する材料	資料を配布する。
	備考	
12	項目	症例問題グループワーク③解説
	学習目標・ポイント	模擬症例を通じて、臨床推論、病態把握、弁証論治、鍼灸師ができること、他職種の役割について理解を深める。
	使用する材料	資料を配布する。
	備考	
13	項目	緩和ケアと鍼灸師
	学習目標・ポイント	鍼灸師に必要な緩和ケアの知識と、鍼灸の可能性について理解する。
	使用する材料	資料を配布する。
	備考	
14	項目	在宅医療と鍼灸師
	学習目標・ポイント	鍼灸師に必要な在宅医療の知識と、鍼灸の可能性について理解する。
	使用する材料	資料を配布する。
	備考	
15	項目	まとめ
	学習目標・ポイント	医療として鍼灸臨床を行う際に必要な知識と技術について理解し説明できる。
	使用する材料	資料を配布する。
	備考	

年 度	令和6年度
学 科	東洋療法教員養成学科
開 講 科 目 名	はりきゅう臨床学Ⅰ(実技)
担 当 教 員	酒井良和
カ リ キ ュ ラ ム 名	はりきゅう臨床学Ⅰ
単 位 数 (時 間 数)	1(30)
配 当 年 次	1年次
部	昼間部
授 業 形 態	実技
開 講 期 間	後期
授 業 概 要 ・ 目 的	全身治療である経絡治療を客観的な指標で評価(点数化による)し、それらの総合点数により証を把握し治療することができる。
到 達 目 標	四診を理解・習得し、証決定からの治療ができる。また特定疾患に対する治療ができる。
成績評価方法及び基準	【全科目共通事項】 必要出席数『「学生のしおり」Ⅰ教務(授業) 10試験について【必要出席数】』に準ずる。 単位認定試験(授業内評価)で100%の評価を行う。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『「学生のしおり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教育・実務業績	担当科目における教育上の業績(1400文字以内) 1.昭和53年9月から平成20年3月(定年退職)まで明治東洋医学院専門学校において 鍼灸理論・鍼灸実技・東洋医学概論・臨床医学各論(特に消化器系) ・臨床実習・治療所実習を担当 2.平成20年4月から明治東洋医学院専門学校非常勤講師として 応用実技・経絡治療実技を担当 3.平成22年4月から履正社医療スポーツ専門学校非常勤講師として応用実技を担当 4.平成20年4月から森ノ宮医療学園専門学校非常勤講師として 東洋医学概論・主要症候に対する実技および平成30年4月から 応用鍼灸実技Ⅱを担当 5.平成25年4月から平成医療学園専門学校非常勤講師として応用実技Ⅰ/Ⅲ および令和2年4月からはりきゅう臨床学Ⅰを担当 実務上の業績 1.職務の内容 昭和50年から平成20年までの間。庶務課長・事務次長 〔全ての事務関係(入学試験、入学式、卒業式、書類関係等) 処理 教務主任・教務課長・教務次長・教務部長 〔教務全般の事務関係(試験、成績、シラバス、時間割り等)処理。 治療所長〔鍼灸・柔整附属治療所の患者管理・治療に関する処理・調整〕 2.臨床経験 昭和53年から平成20年3月まで明治東洋医学院専門学校附属治療所で 平成20年4月以降はさかい鍼灸院で治療に携わっています。 研究実績 証の客観化 問診情報のクラスター分析による蔵府の検討(会議録) 全日本鍼灸学会雑誌 (0285-9955)60巻3号 Page475(2010.05) 耳鳴患者の問診情報の分析(会議録) 全日本鍼灸学会雑誌 (0285-9955)60巻3号 教員養成学科における臨床教育実習の導入について(会議録) 全日本鍼灸学会雑誌 (0285-9955)56巻3号

1 項 目	選穴
学習目標・ポイント	証に対する治療穴を習得する
使用する材料	
備考	
2 項 目	デモ
学習目標・ポイント	実際の診療のながれを習得する
使用する材料	DS鍼 40mm16号 4本/人
備考	
3 項 目	診療1-1
学習目標・ポイント	診察からの証の把握・治療までを習得する
使用する材料	DS鍼 40mm16号 4本/人
備考	
4 項 目	診療1-2
学習目標・ポイント	診察からの証の把握・治療までを習得する
使用する材料	DS鍼 40mm16号 4本/人
備考	
5 項 目	診療2-1
学習目標・ポイント	診察からの証の把握・治療までを習得する
使用する材料	DS鍼 40mm16号 4本/人
備考	
6 項 目	診療2-2
学習目標・ポイント	診察からの証の把握・治療までを習得する
使用する材料	DS鍼 40mm16号 4本/人
備考	
7 項 目	診療3-1
学習目標・ポイント	診察からの証の把握・治療および関節リウマチの治療を習得する
使用する材料	DS鍼 40mm16号 4本/人
備考	
8 項 目	診療3-2
学習目標・ポイント	診察からの証の把握・治療および関節リウマチの治療を習得する
使用する材料	DS鍼 40mm16号 4本/人
備考	
9 項 目	診療4-1
学習目標・ポイント	診察からの証の把握・治療およびうつ病の治療を習得する
使用する材料	DS鍼 40mm16号 5本/人 灸点紙 2枚/人
備考	
10 項 目	診療4-2
学習目標・ポイント	診察からの証の把握・治療およびうつ病の治療を習得する
使用する材料	DS鍼 40mm16号 5本/人 灸点紙 2枚/人
備考	
11 項 目	診療5-1
学習目標・ポイント	診察からの証の把握・治療および不妊症の治療を習得する
使用する材料	DS鍼 40mm16号 5本/人 綿花灸
備考	
12 項 目	診療5-2
学習目標・ポイント	診察からの証の把握・治療および不妊症の治療を習得する
使用する材料	DS鍼 40mm16号 5本/人 綿花灸
備考	
13 項 目	診療6-1
学習目標・ポイント	診察からの証の把握・治療およびむずむず脚症候群の治療を習得する
使用する材料	DS鍼 40mm16号 10本/人
備考	
14 項 目	診療6-2
学習目標・ポイント	診察からの証の把握・治療およびむずむず脚症候群の治療を習得する
使用する材料	DS鍼 40mm16号 10本/人
備考	
15 項 目	評価
学習目標・ポイント	診察・証決定・治療を評価する
使用する材料	DS鍼 40mm16号 4本/人
備考	

年 度	令和6年度
学 科	東洋療法教員養成学科
開 講 科 目 名	はりきゅう臨床学Ⅱ-1(講義)
担 当 教 員	松岡・井上・澤田・内野
カ リ キ ュ ラ ム 名	はりきゅう臨床学Ⅱ
単 位 数 (時 間 数)	1(30)
配 当 年 次	1年次
部	昼間部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	後期
授 業 概 要 ・ 目 的	泌尿生殖系、腰下肢疾患およびその他不定愁訴における西洋医学的病態について講義し、それらに 関与する各症状に対する基本的な鍼灸治療の方法について学ぶ。また、各疾患の学習に入る前に、 経絡経穴について古典に基づく知識の整理を行う。
到 達 目 標	①各疾患の病態について理解し説明できるようになる。 ②西洋医学的および東洋医学的な鍼灸治療の方法(基本)を理解し治療できるようになる。
成績評価方法及び基準	必要出席数『「学生のしおり」I 教務(授業) 10試験について【必要出席数】』に準ずる。 評価試験(授業内評価)で100%の評価を行う。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『「学生のしおり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教 育 ・ 実 務 業 績	

1 項	目	泌尿生殖器系疾患に対する鍼灸治療①
学 習 目 標・ポ イ ン ト		泌尿生殖器系疾患における西洋医学的知識を整理する。
使 用 す る 材 料		配布資料
備 考		
2 項	目	泌尿生殖器系疾患に対する鍼灸治療②
学 習 目 標・ポ イ ン ト		泌尿生殖器系の症状に対する基本的な鍼灸治療について学ぶ。
使 用 す る 材 料		配布資料
備 考		

年 度	令和6年度
学 科	東洋療法教員養成学科
開 講 科 目 名	はりきゅう臨床学Ⅱ-2(講義)
担 当 教 員	佐原 俊作
カ リ キ ュ ラ ム 名	はりきゅう臨床学Ⅱ
単 位 数 (時 間 数)	1(30)
配 当 年 次	1年次
部	昼間部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	後期
授 業 概 要 ・ 目 的	鍼灸臨床で遭遇する疾患について病態及び治療法を学ぶ。
到 達 目 標	①各疾患の病態について理解し説明できるようになる。 ②西洋医学的および東洋医学的な鍼灸治療の方法(基本)を理解する。
成績評価方法及び基準	必要出席数『学生のしおり』I 教務(授業) 10試験について【必要出席数】に準ずる。 評価試験(授業内評価)で100%の評価を行う。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『学生のしおり』Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教育・実務業績	【教育業績】 2013年4月～2017年3月:京都府立視力障害者福祉センターにて鍼灸科講義を担当 2017年4月～2021年3月:札幌スポーツ&メディカル専門学校にて鍼灸科講義を担当 2021年4月～ :平成医療学園専門学校にて鍼灸師科講義を担当 【実務業績】 2011年4月～2013年3月:明治国際医療大学附属鍼灸センターでの施術(大学院生) 2013年4月～2017年3月:京都府立視力障害者福祉センター付属治療院での施術 2018年5月～2021年3月:札幌スポーツ&メディカル専門学校附属鍼灸院での施術 【研究実績】 2012年 全日本鍼灸学会学術大会 一般発表 2012年 全日本鍼灸学会近畿支部学術大会 一般発表 2012年 日本線維筋痛症学会学術集会 一般発表 2013年 全日本鍼灸学会学術大会 一般発表 2015年 東洋療法試験財団研究費 「鍼灸師・マッサージ師のための痛み学習システム」の構築 研究班員 2016年 東洋療法試験財団研究費 「鍼灸師・あんまマッサージ師」のための痛み学習の習得状況に関する評価システム」の開発 研究班員 2017年 東洋療法試験財団研究費 鍼灸師・マッサージ師に必要な痛み治療の技術習得のためのコンテンツ開発 研究班員

1 項 目	導入
学習目標・ポイント	鍼灸臨床でよく遭遇する疾患について理解する。
使用する材料	
備考	
2 項 目	腰痛に対する鍼灸治療
学習目標・ポイント	腰痛に対する鍼灸治療について理解する。
使用する材料	
備考	
3 項 目	便秘に対する鍼灸治療
学習目標・ポイント	便秘に対する鍼灸治療について理解する
使用する材料	
備考	
4 項 目	頸肩部痛(肩こり)に対する鍼灸治療
学習目標・ポイント	頸肩部痛(肩こり)に対する鍼灸治療について理解する。
使用する材料	
備考	
5 項 目	めまい・耳鳴りに対する鍼灸治療
学習目標・ポイント	めまい・耳鳴りに対する鍼灸治療について理解する。
使用する材料	
備考	
6 項 目	頭痛に対する鍼灸治療
学習目標・ポイント	頭痛に対する鍼灸治療について理解する。
使用する材料	
備考	
7 項 目	月経困難症に対する鍼灸治療
学習目標・ポイント	月経困難症に対する鍼灸治療について理解する。
使用する材料	
備考	
8 項 目	変形性膝関節症に対する鍼灸治療
学習目標・ポイント	変形性膝関節症に対する鍼灸治療について理解する。
使用する材料	
備考	
9 項 目	不妊症に対する鍼灸治療
学習目標・ポイント	不妊症に対する鍼灸治療について理解する。
使用する材料	
備考	
10 項 目	つわり・逆子に対する鍼灸治療
学習目標・ポイント	つわり・逆子に対する鍼灸治療について理解する。
使用する材料	
備考	
11 項 目	膠原病に対する鍼灸治療
学習目標・ポイント	膠原病に対する鍼灸治療について理解する。
使用する材料	
備考	
12 項 目	頻尿に対する鍼灸治療
学習目標・ポイント	頻尿に対する鍼灸治療について理解する。
使用する材料	
備考	
13 項 目	疲労・倦怠感に対する鍼灸治療
学習目標・ポイント	疲労・倦怠感に対する鍼灸治療について理解する。
使用する材料	
備考	
14 項 目	緩和ケアにおける鍼灸治療の役割
学習目標・ポイント	緩和ケアにおける鍼灸治療の役割について理解する。
使用する材料	
備考	
15 項 目	授業内評価
学習目標・ポイント	
使用する材料	
備考	

年 度	令和6年度
学 科	東洋療法教員養成学科
開 講 科 目 名	はりきゅう臨床学Ⅱ(実技)
担 当 教 員	佐原 俊作
カ リ キ ュ ラ ム 名	はりきゅう臨床学Ⅱ
単 位 数 (時 間 数)	1(30)
配 当 年 次	1年次
部	昼間部
授 業 形 態	実技
開 講 期 間	後期
授 業 概 要 ・ 目 的	鍼灸臨床学Ⅱ(講義)で学んだ内容について実技を行う。
到 達 目 標	①各疾患の病態について理解し説明できるようになる。 ②西洋医学的および東洋医学的な鍼灸治療の方法(基本)を理解し治療できるようになる。
成績評価方法及び基準	必要出席数『「学生のしおり」Ⅰ教務(授業)10試験について【必要出席数】』に準ずる。 ①出席日数 ②実技試験 を合せて100%で評価を行う。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『「学生のしおり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教育・実務業績	【教育業績】 2013年4月～2017年3月:京都府立視力障害者福祉センターにて鍼灸科講義を担当 2017年4月～2021年3月:札幌スポーツ&メディカル専門学校にて鍼灸科講義を担当 2021年4月～ :平成医療学園専門学校にて鍼灸師科講義を担当 【実務業績】 2011年4月～2013年3月:明治国際医療大学附属鍼灸センターでの施術(大学院生) 2013年4月～2017年3月:京都府立視力障害者福祉センター附属治療院での施術 2018年5月～2021年3月:札幌スポーツ&メディカル専門学校附属鍼灸院での施術 【研究実績】 2012年 全日本鍼灸学会学術大会 一般発表 2012年 全日本鍼灸学会近畿支部学術大会 一般発表 2012年 日本線維筋痛症学会学術集会 一般発表 2013年 全日本鍼灸学会学術大会 一般発表 2015年 東洋療法試験財団研究費 「鍼灸師・マッサージ師のための痛み学習システム」の構築 研究班員 2016年 東洋療法試験財団研究費 「鍼灸師・あんまマッサージ師」のための痛み学習の習得状況に関する評価システム」の開発 研究班員 2017年 東洋療法試験財団研究費 鍼灸師・マッサージ師に必要な痛み治療の技術習得のためのコンテンツ開発 研究班員

1 項 目	導入
学習目標・ポイント	鍼灸臨床でよく遭遇する疾患について理解し治療できる。
使用する材料	
備考	
2 項 目	腰痛に対する鍼灸治療
学習目標・ポイント	腰痛に対する鍼灸治療について理解し治療できる。
使用する材料	
備考	
3 項 目	便秘に対する鍼灸治療
学習目標・ポイント	便秘に対する鍼灸治療について理解し治療できる
使用する材料	
備考	
4 項 目	頸肩部痛(肩こり)に対する鍼灸治療
学習目標・ポイント	頸肩部痛(肩こり)に対する鍼灸治療について理解し治療できる。
使用する材料	
備考	
5 項 目	めまい・耳鳴りに対する鍼灸治療
学習目標・ポイント	めまい・耳鳴りに対する鍼灸治療について理解し治療できる。
使用する材料	
備考	
6 項 目	頭痛に対する鍼灸治療
学習目標・ポイント	頭痛に対する鍼灸治療について理解し治療できる。
使用する材料	
備考	
7 項 目	月経困難症に対する鍼灸治療
学習目標・ポイント	月経困難症に対する鍼灸治療について理解し治療できる。
使用する材料	
備考	
8 項 目	変形性膝関節症に対する鍼灸治療
学習目標・ポイント	変形性膝関節症に対する鍼灸治療について理解し治療できる。
使用する材料	
備考	
9 項 目	不妊症に対する鍼灸治療
学習目標・ポイント	不妊症に対する鍼灸治療について理解し治療できる。
使用する材料	
備考	
10 項 目	つわり・逆子に対する鍼灸治療
学習目標・ポイント	つわり・逆子に対する鍼灸治療について理解し治療できる。
使用する材料	
備考	
11 項 目	膠原病に対する鍼灸治療
学習目標・ポイント	膠原病に対する鍼灸治療について理解し治療できる。
使用する材料	
備考	
12 項 目	頻尿に対する鍼灸治療
学習目標・ポイント	頻尿に対する鍼灸治療について理解し治療できる。
使用する材料	
備考	
13 項 目	疲労・倦怠感に対する鍼灸治療
学習目標・ポイント	疲労・倦怠感に対する鍼灸治療について理解し治療できる。
使用する材料	
備考	
14 項 目	緩和ケアにおける鍼灸治療の役割
学習目標・ポイント	緩和ケアにおける鍼灸治療の役割について理解し治療できる。
使用する材料	
備考	
15 項 目	授業内評価
学習目標・ポイント	
使用する材料	
備考	

年 度	令和6年度
学 科	東洋療法教員養成学科
開 講 科 目 名	はりきゅう応用学(講義)
担 当 教 員	松元 隆司
カ リ キ ュ ラ ム 名	はりきゅう応用学
単 位 数 (時 間 数)	2(30)
配 当 年 次	1年次
部	昼間部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	前期
授 業 概 要 ・ 目 的	スポーツ現場に於いてコンディショニングについて機能解剖を基本にマッサージ、ストレッチ、エクササイズを中心として身体評価とコンディショニングで出来る事。
到 達 目 標	上記の目的に向かって具体的に知識を現場で選手に実感させる技術を持つ。
成績評価方法及び基準	【全科目共通事項】 必要出席数『「学生のしおり」I 教務(授業) 10試験について【必要出席数】』に準ずる。 評価試験(授業内評価)で100%の評価を行う。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『「学生のしおり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教 育 ・ 実 務 業 績	担当科目における教育上の業績 1980～2001 阪急ブレーブス・オリックスブルーウェーブでトレーナーとして就業 トレーナー業務の実践 2003～現在 大阪医専 非常勤講師 スポーツ医学 I マッサージ概論担当 2008～2011 名古屋医専 専任教員 コンディショニング担当 2016～2020 明治国際医療大学 特任教授 スポーツ柔整学、アスレチックリハビリ担当

1 項 目	コンディショニングの意味
学習目標・ポイント	現場に於いてのコンディショニングの目的
使用する材料	
備考	
2 項 目	チームストレナーの役割
学習目標・ポイント	選手の障害予防を主として予防について
使用する材料	
備考	
3 項 目	障害予防のコンディショニング
学習目標・ポイント	障害予防に関する評価と治療
使用する材料	
備考	
4 項 目	投球障害について
学習目標・ポイント	全身運動のメカニズムと評価
使用する材料	
備考	
5 項 目	コンディショニングの実際
学習目標・ポイント	マッサージ、ストレッチ、エクササイズ(トレーニング)を考える
使用する材料	
備考	
6 項 目	足底からの運動連鎖
学習目標・ポイント	回内足・回外足・開張足の身体への影響
使用する材料	
備考	
7 項 目	足アーチの重要性
学習目標・ポイント	足底の動きと機能不全のコンディショニング
使用する材料	
備考	
8 項 目	下腿から膝
学習目標・ポイント	機能不全による障害 シンスプリントetc外脛骨
使用する材料	
備考	
9 項 目	膝から大腿
学習目標・ポイント	股関節と足から膝への影響
使用する材料	
備考	
10 項 目	大腿と股関節と腰椎
学習目標・ポイント	腰痛のメカニズム(腰椎骨盤リズム)
使用する材料	
備考	
11 項 目	体幹エクササイズ的重要性
学習目標・ポイント	体幹エクササイズの意義
使用する材料	
備考	
12 項 目	腸腰筋と胸腰腱膜
学習目標・ポイント	股関節、屈筋と大殿筋の関係
使用する材料	
備考	
13 項 目	肩甲骨の動きと姿勢
学習目標・ポイント	円背が肩甲骨に与える影響
使用する材料	
備考	
14 項 目	前方頭位(肩こり)の考え方
学習目標・ポイント	緊張筋と弛緩筋
使用する材料	
備考	
15 項 目	腰痛肩こりの運動連鎖
学習目標・ポイント	全身からの考察
使用する材料	
備考	

年 度	令和6年度
学 科	東洋療法教員養成学科
開 講 科 目 名	はりきゅう応用学(実技)
担 当 教 員	松元 隆司
カ リ キ ュ ラ ム 名	はりきゅう応用学
単 位 数 (時 間 数)	1(30)
配 当 年 次	1年次
部	昼間部
授 業 形 態	実技
開 講 期 間	前期
授 業 概 要 ・ 目 的	スポーツ現場に於いてコンディショニングについて機能解剖を基本にマッサージ、ストレッチ、エクササイズを中心として身体評価とコンディショニングで出来る事。
到 達 目 標	上記の目的に向かって具体的に知識を現場で選手に実感させる技術を持つ。
成績評価方法及び基準	【全科目共通事項】 必要出席数『「学生のしおり」I 教務(授業) 10試験について【必要出席数】』に準ずる。 評価試験(授業内評価)で100%の評価を行う。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『「学生のしおり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教育・実務業績	担当科目における教育上の業績 1980～2001 阪急ブレーブス・オリックスブルーウェーブでトレーナーとして就業 トレーナー業務の実践 2003～現在 大阪医専 非常勤講師 スポーツ医学 I マッサージ概論担当 2008～2011 名古屋医専 専任教員 コンディショニング担当 2016～2020 明治国際医療大学 特任教授 スポーツ柔整学、アスレチックリハビリ担当

1 項 目	現場に於いての実技の種類
学習目標・ポイント	マッサージ、ストレッチ、筋カトレーニングの考え方
使用する材料	
備考	
2 項 目	コンディショニングとしてのマッサージ
学習目標・ポイント	マッサージの基本手技の実施
使用する材料	
備考	
3 項 目	軽擦、揉捏、圧迫の実技
学習目標・ポイント	それぞれ手技のメリットを解説
使用する材料	
備考	
4 項 目	揉捏の収類(拇指・二指・四指・手根)
学習目標・ポイント	
使用する材料	
備考	
5 項 目	各部位・足底のマッサージ
学習目標・ポイント	足底の機能解剖をふまえた手技
使用する材料	
備考	
6 項 目	下腿～膝、マッサージ、ストレッチ、エクササイズ
学習目標・ポイント	
使用する材料	
備考	
7 項 目	膝から大腿、マッサージ、ストレッチ、エクササイズ
学習目標・ポイント	
使用する材料	
備考	
8 項 目	大腿から骨盤(大腿四頭筋、ハムスト、特に大腿筋膜張筋マッサージ)
学習目標・ポイント	
使用する材料	
備考	
9 項 目	殿筋(身体的には重要な部分であり触診含めて重要、マッサージ)
学習目標・ポイント	
使用する材料	
備考	
10 項 目	殿筋のストレッチ、エクササイズ
学習目標・ポイント	
使用する材料	
備考	
11 項 目	体幹トレーニング
学習目標・ポイント	
使用する材料	
備考	
12 項 目	腰部のマッサージ
学習目標・ポイント	大殿筋弱化的改善
使用する材料	
備考	
13 項 目	肩甲骨のマッサージとモビライゼーション
学習目標・ポイント	
使用する材料	
備考	
14 項 目	頸部と肩部のマッサージ、ストレッチ
学習目標・ポイント	
使用する材料	
備考	
15 項 目	全身マッサージの復習
学習目標・ポイント	
使用する材料	
備考	

年 度	令和6年度
学 科	東洋療法教員養成学科
開 講 科 目 名	共通臨床実習②
担 当 教 員	久保 益秀
カ リ キ ュ ラ ム 名	臨床実習
単 位 数 (時 間 数)	6(270) うち150時間を久保担当
配 当 年 次	1年次
部	昼間部
授 業 形 態	実習
開 講 期 間	通年
授 業 概 要 ・ 目 的	付属治療院にて教員指導の下、医療面接、診察により、病態把握し、適切な治療を行える知識や技術を養う。
到 達 目 標	①基本的な患者対応、医療面接から治療までの一連の流れとして行える。 ②患者の苦痛を理解し、医療従事者としてのモラルと使命感を身につける。 ③観察した症例を正確に記入し、病態や治療方針について他者に説明ができる。 ④症例数70例以上、症例報告を作成する。
成績評価方法及び基準	【全科目共通事項】 必要出席数『学生のしおり』I 教務(授業) 10試験について【必要出席数】』に準ずる。 出席状況や実習態度で評価を行う。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『学生のしおり』Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 授業の妨害(私語、多科目の勉強、寝る)は、口頭で注意する。
教 育 ・ 実 務 業 績	【教育業績】 平成15年4月～平成24年3月 平成医療学園専門学校 鍼灸師科非常勤講師 東洋医学臨床論を担当 平成15年6月～現在 平成医療学園専門学校 特別講義非常勤講師 手技療法・鍼灸臨床実技を担当 平成24年4月～平成31年3月 平成医療学園専門学校 東洋療法教員養成学科非常勤講師 鍼灸臨床実技を担当 【実務業績】 平成元年5月～平成6年4月 木村クリニック リハビリテーション科に 鍼灸師・あん摩マッサージ指圧師として勤務 平成6年5月～平成9年1月 久保整骨院(大阪府中央区) 開院 院長として勤務 平成9年2月～現在 久保整骨院(岸和田市) 開院 院長として勤務 平成24年10月～現在 久保鍼灸マッサージ院 開院 院長として勤務 【研究実績】 肥満遺伝子に関わる遺伝体質と東洋医学的所見(自覚的所見)による体質との関連性について 平成27年10月 第22回日本未病システム学会 学術総会一般発表 東洋医学的体質とBMIとの関連性について 平成27年12月 第14回日本栄養改善学会近畿支部 学術総会一般発表 東洋医学的体質とBMI、生活習慣、食嗜好、食行動との関連 平成28年6月 第52回日本循環器病予防学会 学術集会一般発表 BMI型肥満に陥りやすい「胃熱体質」者の行動因子及び肥満関連遺伝子との関係性について 平成29年11月 第24回日本未病システム学会 学術総会一般発表

1 項 目	1～76 施術所における実習を行う。
学習目標・ポイント	教員指導の下、患者に医療面接、診察により、病態把握し、適切な治療を行う。 カルテに正しく記入し、鍼灸師科学生に病態や治療方針について説明や指導を行う。 患者の苦痛を理解し、医療従事者としてのモラルと使命感を身につける。
使用する材料 備 考	

年 度	令和6年度
学 科	東洋療法教員養成学科
開 講 科 目 名	はり、きゅう臨床実習
担 当 教 員	内野 容子
カリキュラム名	臨床実習
単 位 数 (時 間 数)	4(180)
配 当 年 次	1年次
部	昼間部
授 業 形 態	実習
開 講 期 間	通年
授 業 概 要 ・ 目 的	付属治療院にて教員指導の下で、医療面接、診察により、病態把握し、適切な治療を行える知識や技術を養う。
到 達 目 標	①基本的な患者対応、医療面接から治療までの一連の流れとして行える。 ②患者の苦痛を理解し、医療従事者としてのモラルと使命感を身につける。 ③観察した症例を正確に記入し、病態や治療方針について他者に説明ができる。 ④症例数70例以上、症例報告を作成する。
成績評価方法及び基準	必要出席数『学生のしおり』I 教務(授業) 10試験について【必要出席数】』に準ずる。 出席状況や実習態度で評価を行う。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『学生のしおり』Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 授業の妨害(私語、多科目の勉強、寝る)は、口頭で注意する。
教 育 ・ 実 務 業 績	【教育業績】 平成15年4月～現在まで 平成医療学園専門学校 鍼灸師科教員 平成医療学園専門学校 鍼灸師科教員として在籍 平成17年4月～平成21年3月31日 大阪大学専修学校研修員 大阪大学 歯学部 解剖学教室にて解剖を行う。 【実務業績】 平成22年4月～平成23年3月31日 大阪大学歯学部付属病院 病院研修生 大阪大学歯学部付属病院 歯科麻酔科 鍼灸研修生として在籍 頭頸部の痛みや麻痺の鍼灸治療を行う。 【研究実績】 鍼治療とB型・C型肝炎感染に関する文献レビュー 2016年8月 全日本鍼灸学会雑誌(0285-9955)66巻3号 p166-179 鍼治療と肝炎感染の関連についての文献レビューにおけるハンドサーチの重要性 システマティック・レビューの変法による検証 2017年8月 全日本鍼灸学会雑誌(0285-9955)67巻3号 p201-214

1 項 目	1～90 施術所における実習を行う。
学習目標・ポイント	教員指導の下、患者に医療面接、診察により、病態把握し、適切な治療を行う。 カルテに正しく記入し、鍼灸師科学生に病態や治療方針について説明や指導を行う。 患者の苦痛を理解し、医療従事者としてのモラルと使命感を身につける。

年 度	令和6年度
学 科	東洋療法教員養成学科
開 講 科 目 名	原典(古典)閲読(講義)
担 当 教 員	木場 宣子
カ リ キ ュ ラ ム 名	人文科学
単 位 数 (時 間 数)	2(30)
配 当 年 次	2年次
部	昼間部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	後期
授 業 概 要 ・ 目 的	東洋医学概論で習ったことで疑問に感じたことを、文献を調べることにより明らかにする方法を身につける。
到 達 目 標	文献についての基礎知識を学ぶ。 歴史、書誌学、句読など
成績評価方法及び基準	【全科目共通事項】 必要出席数『学生のしおり』I 教務(授業) 10試験について【必要出席数】』に準ずる。 評価試験(授業内評価)で100%の評価を行う。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『学生のしおり』Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教育・実務業績	H17年 はり師きゅう師免許取得後、平成医療学園にて教員助手として勤務 H20年 はり師きゅう師教員免許取得後、平成医療学園にて教員として勤務 H20～ 4 26 鍼灸院開業 以後、H31年現在に至るまで、子どもから高齢者まで、はりや灸で地域の健康に役立つことは何かを考えながら臨床を続けている。 H19日本鍼灸史学会発表『呉氏医聖堂叢書における鍼灸』 H20日本鍼灸史学会発表『家庭に於ける実際的看護の秘訣の鍼灸』 H21日本鍼灸史学会発表『後藤流の灸法』 H22日本鍼灸史学会発表『香川流の灸法』 H23日本鍼灸史学会発表『名古屋玄医の灸法』 H24日本鍼灸史学会発表『和田東郭の灸法』 研究に関しては、小さな学会で少し発表する程度であるが、自身の担当科目である灸法について知識を深めるために参加した。

1 項 目	文献の基礎① 歴史
学習目標・ポイント	文献のために必要な歴史的背景を学ぶ
使用する材料	
備考	
2 項 目	文献基礎② 書誌学
学習目標・ポイント	書誌学について学ぶ
使用する材料	
備考	
3 項 目	文献基礎③ 書誌学
学習目標・ポイント	
使用する材料	
備考	
4 項 目	文献基礎④ 句読
学習目標・ポイント	句読について学ぶ
使用する材料	
備考	
5 項 目	文献基礎⑤ 句読
学習目標・ポイント	
使用する材料	
備考	
6 項 目	古典講読① 『素問』
学習目標・ポイント	『素問』を読む
使用する材料	
備考	
7 項 目	古典講読② 『素問』
学習目標・ポイント	
使用する材料	
備考	
8 項 目	古典講読③ 『素問』
学習目標・ポイント	
使用する材料	
備考	
9 項 目	古典講読④ 『素問』
学習目標・ポイント	
使用する材料	
備考	
10 項 目	古典講読⑤ 『素問』
学習目標・ポイント	
使用する材料	
備考	
11 項 目	古典講読⑥
学習目標・ポイント	
使用する材料	
備考	
12 項 目	古典講読⑦
学習目標・ポイント	
使用する材料	
備考	
13 項 目	古典講読⑧
学習目標・ポイント	
使用する材料	
備考	
14 項 目	古典講読⑨
学習目標・ポイント	
使用する材料	
備考	
15 項 目	古典講読⑩
学習目標・ポイント	
使用する材料	
備考	

年 度	令和6年度
学 科	東洋療法教員養成学科
開 講 科 目 名	外国語(演習)
担 当 教 員	吉住尚恵
カ リ キ ュ ラ ム 名	人文学
単 位 数 (時 間 数)	2(60)
配 当 年 次	2年次
部	屋間部
授 業 形 態	演習
開 講 期 間	前期
授 業 概 要 ・ 目 的	英文法の基礎を学ぶ。医学英単語の習得。
到 達 目 標	中学～高校レベルの英文法の基礎及び医学英単語習得。
成績評価方法及び基準	【全科目共通事項】 必要出席数『学生のしおり』I 教務(授業) 10試験について【必要出席数】に準ずる。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『「学生のしおり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教育・実務業績	(1400文字以内) 1、担当科目における教育上の業績 2009年 6月 ～ 2016年12月 ニフ国際学院にて英文法の指導を担当。 2、実務上の業績(臨床経験等) ※業績がない場合は記入不要です。 なし 3、研究業績 2012年 11月 実用英語技能検定1級取得 2008年 9月 TOEICスコア870

1	項目	英文法(中学～高校) be動詞と一般動詞・時制/医学英単語(人体1)
	学習目標・ポイント	be動詞と一般動詞の違いを理解する
	使用する材料	プリント配布
	備考	(特筆事項)
2	項目	英文法(中学～高校)様々な疑問文・現在進行形/医学英単語(人体2)
	学習目標・ポイント	5W1Hを用いた疑問文を作れるようになる。現在進行形の理解。
	使用する材料	プリント配布
	備考	
3	項目	英文法(中学～高校)受動態・現在分詞と過去分詞/医学英単語(人体3)
	学習目標・ポイント	受動態と能動態の理解、現在分詞と過去分詞を使いこなす。
	使用する材料	プリント配布
	備考	
4	項目	英文法(中学～高校)助動詞/医学英単語(骨格系1)
	学習目標・ポイント	助動詞を理解する。
	使用する材料	プリント配布
	備考	
5	項目	英文法(中学～高校)現在完了形/医学英単語(骨格系2)
	学習目標・ポイント	現在完了の意味を理解する。
	使用する材料	プリント配布
	備考	
6	項目	英文法(中学～高校)比較/医学英単語(筋肉系)
	学習目標・ポイント	比較級・最上級の文を作れるようになる。
	使用する材料	プリント配布
	備考	
7	項目	英文法(中学～高校)不定詞/医学英単語(循環系)
	学習目標・ポイント	不定詞の様々な意味を理解する。
	使用する材料	プリント配布
	備考	
8	項目	英文法(中学～高校)文構造/医学英単語(呼吸器系)
	学習目標・ポイント	文構造を理解し、文型について習得する。
	使用する材料	プリント配布
	備考	
9	項目	英文法(中学～高校)関係代名詞①/医学英単語(消化器系)
	学習目標・ポイント	関係代名詞を理解する。
	使用する材料	プリント配布
	備考	
10	項目	英文法(中学～高校)関係代名詞②/医学英単語(泌尿器系)
	学習目標・ポイント	さまざまな関係代名詞の文を習得する。
	使用する材料	プリント配布
	備考	
11	項目	英文法(中学～高校)仮定法/医学英単語(神経系)
	学習目標・ポイント	仮定法を理解する。
	使用する材料	プリント配布
	備考	
12	項目	英文法(中学～高校)分詞構文/医学英単語(リンパ系)
	学習目標・ポイント	分詞構文を習得する。
	使用する材料	プリント配布
	備考	
13	項目	英文法(中学～高校)前置詞・接続詞/医学英単語(さまざまながん治療)
	学習目標・ポイント	前置詞と接続詞の使い方を習得する。
	使用する材料	プリント配布
	備考	
14	項目	英文法(中学～高校)及び医学英単語総復習
	学習目標・ポイント	総復習
	使用する材料	プリント配布
	備考	
15	項目	英文法(中学～高校)及び医学英単語総復習
	学習目標・ポイント	総復習
	使用する材料	プリント配布
	備考	

年 度	令和6年度
学 科	東洋療法教員養成学科
開 講 科 目 名	教育学概論(講義)
担 当 教 員	戸田和樹
カ リ キ ュ ラ ム 名	教育と教員
単 位 数 (時 間 数)	1(30)
配 当 年 次	2年次
部	昼間部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	前期
授 業 概 要 ・ 目 的	教育学概論で学ぶ教育原理は、教育の目的・理論から学習指導要領、はたまた同和教育、生涯教育と広範囲に及びます。教職教養全体を総括する重要な位置にあるこの学習内容は、教員を目指す人にとっては必ず修得しなければならない学習内容です。
到 達 目 標	教育の目標や教育の現状と未来への方向性を多角的な観点から概観することができる。
成績評価方法及び基準	【全科目共通事項】 必要出席数『「学生のしおり」I 教務(授業) 10試験について【必要出席数】』に準ずる。 試験(レポート)70%、平常授業10%、出席20%で評価する。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『「学生のしおり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教育・実務業績	2016年度より大阪医療技術学園東洋医療技術教員養成科にて、教育学概論・教育法法学Ⅰ・Ⅱ・教育実習を担当する。 1976年京都市立小学校。1987年京都教育大学附属京都小学校。2014年京都教育大学指導教諭。 2016年京都教育大学附属京都小中学校非常勤講師。在任中、実践教育方法学の研究を行い、全国発表(全国小学校国語科研究会・大村はま記念研究会など)・大阪国語教育者協議会委員、京都国語の会主催 2014年和歌山県新宮市学力向上推進検討委員会会長 詩人・童話作家 第20回新美南吉童話賞最優秀賞(文部科学大臣奨励賞)「かげつなぎ」 第2回徒然草エッセイ大賞「人間教師への旅立ち」 キッズエクスプレス21童話コンテスト文部科学大臣賞「夏のきつぷ」 第54回詩人会議新人賞「かくれてへんかー」 第3回ふう太の杜 常田富士夫文学賞「雪の馬」 28回岐阜県文芸祭児童文学部門文芸大賞「白いきつねてつどう」など

1 項 目	シラバスを通し、教育学概論の学習の見通しを持つことができる。
学習目標・ポイント	『教育』への印象・思いを話し合います。
使用する材料	シラバス等配布予定
備考	
2 項 目	教育原理の全体像を把握することができる。
学習目標・ポイント	日本国憲法と教育との関りについて調べ、発表する①
使用する材料	資料プリント配布
備考	
3 項 目	教育原理の全体像を把握することができる。
学習目標・ポイント	日本国憲法と教育との関りについて調べ、発表する②
使用する材料	資料プリント配布
備考	
4 項 目	日本国憲法よ教育基本法との関りを知ることができる。
学習目標・ポイント	教育基本法や教育の意義・目的などを話し合う。
使用する材料	資料プリント配布
備考	
5 項 目	人格形成と家庭教育、学校教育、社会教育について理解することができる。①生徒指導の意義と原理
学習目標・ポイント	鍼灸医療教育における生徒指導について、そのあり方を検討する。
使用する材料	資料プリント配布
備考	
6 項 目	学習指導に生きる指導原理(「個を生かす」の視点と「詰め込み教育」)
学習目標・ポイント	「個」に応じるとともに、「個」を生かす指導のあり方を模索することができる。
使用する材料	資料プリント配布
備考	
7 項 目	学ぶ意味と「人間力」とは何かを考えることができる。
学習目標・ポイント	「人間力」を育てるために、どのような取り組みが必要かを話し合う。
使用する材料	資料プリント配布
備考	
8 項 目	「大人の姿を見せる」ことの意義を考えることができる。新しい学力の捉え方
学習目標・ポイント	鍼灸医療教育の中で「大人の姿を見せる」ということは、どういうことかを話し合う。
使用する材料	資料プリント配布
備考	
9 項 目	日本の鍼灸教育の歴史的変遷について理解することができる。①
学習目標・ポイント	戦後の鍼灸教育の変遷を調べ、表にする。
使用する材料	資料プリント配布
備考	
10 項 目	日本の鍼灸教育の歴史的変遷について理解することができる。②
学習目標・ポイント	戦後の鍼灸教育の変遷を理解すると共に、今後の鍼灸教育の課題について話し合う。
使用する材料	資料プリント配布
備考	
11 項 目	人権教育の改善・充実の基本的考え方を理解することができる。
学習目標・ポイント	「人権」とは何かを明らかにしながら、なぜ人権教育が必要なのかを話し合う。
使用する材料	資料プリント配布
備考	
12 項 目	ジェンダーと性差別について理解することができる。
学習目標・ポイント	日本において、どんなところに性差別が残っているか、教育の現場ではどうかを話し合う。
使用する材料	資料プリント配布
備考	
13 項 目	特別支援教育について理解することができる。
学習目標・ポイント	「特別な支援を要する教育」とは、どんな教育かを話し合う。
使用する材料	資料プリント配布
備考	
14 項 目	インクルーシブ教育と現代教育の課題についての認識を深めることができる。
学習目標・ポイント	子どもの貧困・不登校・引きこもり・自殺・ニートについて、教育者としてできることは何かを考える
使用する材料	資料プリント配布
備考	
15 項 目	レポート作成
学習目標・ポイント	教育学概論のまとめとして、課題に応じたレポートを作成する。
使用する材料	
備考	

年 度	令和6年度
学 科	東洋療法教員養成学科
開 講 科 目 名	教育心理学(講義)
担 当 教 員	岡島 泰三
カ リ キ ュ ラ ム 名	教育と教員
単 位 数 (時 間 数)	2(60)
配 当 年 次	2年次
部	昼間部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	通年
授 業 概 要 ・ 目 的	教育心理学を学ぶことで、学び方の基礎を習得する。 また、学生の集団や学生との関係の取り方を学ぶ。
到 達 目 標	学生の学びに関する多様な方法を習得する。
成績評価方法及び基準	【全科目共通事項】 必要出席数『「学生のしおり」I 教務(授業) 10試験について【必要出席数】』に準ずる。 評価試験(授業内評価)で100%の評価を行う。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『「学生のしおり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教 育 ・ 実 務 業 績	1、担当科目における教育上の業績 2006年4月～現在に至る 帝塚山学院大学において 心理学、児童心理学を担当する 2010年4月～現在に至る 関西学院大学において 心理科学基礎実習を担当する 2019年4月～現在に至る 宝塚医療大学において 心理学を担当する 2005年4月～2019年3月 大阪医専において 臨床心理学を担当する 2、実務上の業績 2005年4月～現在に至る 四條畷市保健センターにおいて発達相談員として勤務

1 項 目	教育心理学とは？
学習目標・ポイント	教育心理学の基礎を学ぶ。
使用する材料	プリント PC DVD
備考	
2 項 目	教育心理学とは？
学習目標・ポイント	自己紹介を通じて現在の話し方について知る。
使用する材料	プリント PC DVD
備考	
3 項 目	学習
学習目標・ポイント	古典的条件づけについて学ぶ。
使用する材料	プリント PC DVD
備考	
4 項 目	学習
学習目標・ポイント	オペラント条件づけについて学ぶ。
使用する材料	プリント PC DVD
備考	
5 項 目	学習
学習目標・ポイント	認知学習について学ぶ。
使用する材料	プリント PC DVD
備考	
6 項 目	学習
学習目標・ポイント	運動学習について学ぶ。
使用する材料	プリント PC DVD
備考	
7 項 目	動機づけ
学習目標・ポイント	内発的動機づけについて学ぶ。
使用する材料	プリント PC DVD
備考	
8 項 目	動機づけ
学習目標・ポイント	外発的動機づけについて学ぶ。
使用する材料	プリント PC DVD
備考	
9 項 目	知覚
学習目標・ポイント	知覚について学ぶ。
使用する材料	プリント PC DVD
備考	
10 項 目	知覚
学習目標・ポイント	知覚について学ぶ。
使用する材料	プリント PC DVD
備考	
11 項 目	認知
学習目標・ポイント	記憶について学ぶ。
使用する材料	プリント PC DVD
備考	
12 項 目	認知
学習目標・ポイント	記憶について学ぶ。
使用する材料	プリント PC DVD
備考	
13 項 目	認知
学習目標・ポイント	記憶について学ぶ。
使用する材料	プリント PC DVD
備考	
14 項 目	認知
学習目標・ポイント	思考について学ぶ。
使用する材料	プリント PC DVD
備考	
15 項 目	認知
学習目標・ポイント	注意について学ぶ。
使用する材料	プリント PC DVD
備考	

年 度	令和6年度
学 科	東洋療法教員養成学科
開 講 科 目 名	教育心理学(講義)
担 当 教 員	岡島 泰三
カ リ キ ュ ラ ム 名	教育と教員
単 位 数 (時 間 数)	2(60)
配 当 年 次	2年次
部	昼間部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	通年
授 業 概 要 ・ 目 的	教育心理学を学ぶことで、学び方の基礎を習得する。 また、学生の集団や学生との関係の取り方を学ぶ。
到 達 目 標	学生の学びに関する多様な方法を習得する。
成績評価方法及び基準	【全科目共通事項】 必要出席数『「学生のしおり」I 教務(授業) 10試験について【必要出席数】』に準ずる。 評価試験(授業内評価)で100%の評価を行う。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『「学生のしおり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教 育 ・ 実 務 業 績	1、担当科目における教育上の業績 2006年4月～現在に至る 帝塚山学院大学において 心理学、児童心理学を担当する 2010年4月～現在に至る 関西学院大学において 心理科学基礎実習を担当する 2019年4月～現在に至る 宝塚医療大学において 心理学を担当する 2005年4月～2019年3月 大阪医専において 臨床心理学を担当する 2、実務上の業績 2005年4月～現在に至る 四條畷市保健センターにおいて発達相談員として勤務

16 項	目	社会心理学
学習目標・ポイント		対人認知について学ぶ。
使用する材料		プリント PC DVD
備考		
17 項	目	社会心理学
学習目標・ポイント		対人認知について学ぶ。
使用する材料		プリント PC DVD
備考		
18 項	目	社会心理学
学習目標・ポイント		自己について学ぶ。
使用する材料		プリント PC DVD
備考		
19 項	目	社会心理学
学習目標・ポイント		自己について学ぶ。
使用する材料		プリント PC DVD
備考		
20 項	目	社会心理学
学習目標・ポイント		集団について学ぶ。
使用する材料		プリント PC DVD
備考		
21 項	目	社会心理学
学習目標・ポイント		集団について学ぶ。
使用する材料		プリント PC DVD
備考		
22 項	目	感情
学習目標・ポイント		感情について学ぶ。
使用する材料		プリント PC DVD
備考		
23 項	目	感情
学習目標・ポイント		感情について学ぶ。
使用する材料		プリント PC DVD
備考		
24 項	目	性格
学習目標・ポイント		性格について学ぶ。
使用する材料		プリント PC DVD
備考		
25 項	目	知能
学習目標・ポイント		知能について学ぶ。
使用する材料		プリント PC DVD
備考		
26 項	目	臨床
学習目標・ポイント		障がい者について学ぶ。
使用する材料		プリント PC DVD
備考		
27 項	目	臨床
学習目標・ポイント		障がい者について学ぶ。
使用する材料		プリント PC DVD
備考		
28 項	目	臨床
学習目標・ポイント		精神疾患について学ぶ。
使用する材料		プリント PC DVD
備考		
29 項	目	まとめ
学習目標・ポイント		模擬授業を行う。
使用する材料		プリント PC DVD
備考		
30 項	目	まとめ
学習目標・ポイント		模擬授業を行う。
使用する材料		プリント PC DVD
備考		

年 度	令和6年度
学 科	東洋療法教員養成学科
開 講 科 目 名	教育方法(講義)
担 当 教 員	戸田和樹
カ リ キ ュ ラ ム 名	教育と教員
単 位 数 (時 間 数)	2(30)
配 当 年 次	2年次
部	昼間部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	集中
授 業 概 要 ・ 目 的	①教育人としての資質・素養について理解する ②教官の実践指導の実際などを通し, さまざまな教育技法を知り, 実践的授業力を身につけることができる。
到 達 目 標	授業における教育技法および個に応じた教育のあり方、人間性を育う教育について考えることができる。
成績評価方法及び基準	【全科目共通事項】 必要出席数『「学生のしおり」I 教務(授業) 10試験について【必要出席数】』に準ずる。 試験(レポート)70%、平常授業10%、出席20%で評価する。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『「学生のしおり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教育・実務業績	2016年度より大阪医療技術学園東洋医療技術教員養成科にて、教育学概論・教育法法学Ⅰ・Ⅱ・教育実習を担当する。 1976年京都市立小学校。1987年京都教育大学附属京都小学校。2014年京都教育大学指導教諭。 2016年京都教育大学附属京都小中学校非常勤講師。在任中、実践教育方法学の研究を行い、全国発表(全国小学校国語科研究会・大村はま記念研究会など)・大阪国語教育者協議会委員、京都国語の会主催 2014年和歌山県新宮市学力向上推進検討委員会会長 詩人・童話作家 第20回新美南古童話賞最優秀賞(文部科学大臣奨励賞)「かげつなぎ」 第2回徒然草エッセイ大賞「人間教師への旅立ち」 キッズエクスプレス21童話コンテスト文部科学大臣賞「夏のきつぷ」 第54回詩人会議新人賞「かくれてへんかー」 第3回ふう太の杜 常田富士夫文学賞「雪の馬」 28回岐阜県文芸祭児童文学部門文芸大賞「白いきつねてつどう」など

1 項 目	授業において、大切にしたいのは「分かる」ことか「楽しさ」なのかを話し合うことができる。
学習目標・ポイント	生徒側からの「学ぶ楽しさ」の獲得についてそれぞれの考えを發表し合う。
使用する材料	資料プリント配布予定
備考	
2 項 目	学習指導案の記述の仕方を知ることができる。
学習目標・ポイント	教材観・指導観・本時の目標・展開例・評価・板書例などの基本的な書き方を知る。
使用する材料	資料プリント配布
備考	
3 項 目	「灸」の学習指導案の教材観を記述することができる。①
学習目標・ポイント	「灸」の教材研究をもとに、主観を入れ込む表現としての教材観を記述する。
使用する材料	資料プリント配布
備考	
4 項 目	「灸」の学習指導案の教材観を記述することができる。②
学習目標・ポイント	記述した教材観を配布し、読み合って、気がついたことを交流する。
使用する材料	資料プリント配布
備考	
5 項 目	師範授業見学から学んだことを記述し、話し合うことができる。
学習目標・ポイント	教師の師範授業を参観し、肯定的批評と批判的批評の在り方を考える
使用する材料	資料プリント配布
備考	
6 項 目	学習指導案の中の「展開例」「目標」「評価」の記述の仕方を知ることができる。
学習目標・ポイント	「灸」の学習を想定して、簡単な「展開例」を記述する。
使用する材料	資料プリント配布
備考	
7 項 目	「板書計画」の在り方を考えることができる。
学習目標・ポイント	自分の考えた「展開例」に基づいた「板書計画」を記述する。
使用する材料	資料プリント配布
備考	
8 項 目	模擬授業を30分間で行い、考えてことを交流することができる。
学習目標・ポイント	「発問」「示唆」や話し方・聞き方、板書の仕方などを視点にして観察する。
使用する材料	資料プリント配布
備考	
9 項 目	「話す」「聞く」の技能について、実践を通して理解することができる。
学習目標・ポイント	落語の「小噺」を例に取り上げ、言語コミュニケーションと非言語コミュニケーションについて話し合う
使用する材料	資料プリント配布
備考	
10 項 目	教材プリントの作り方について、簡単な実践を行い、できたプリントをもとに話し合うことができる。
学習目標・ポイント	教科書「鍼の種類と使用の仕方」についての配布プリントを作成する。
使用する材料	資料プリント配布
備考	
11 項 目	アクティブラーニングとは何かを知る
学習目標・ポイント	主体的対話的で深い学びのある学習とは何かを考える。
使用する材料	資料プリント配布
備考	
12 項 目	模擬授業①
学習目標・ポイント	60分の授業と30分の話し合い
使用する材料	実践報告資料
備考	
13 項 目	模擬授業②
学習目標・ポイント	60分の授業と30分の話し合い
使用する材料	資料プリント配布
備考	
14 項 目	模擬授業③
学習目標・ポイント	90分の授業
使用する材料	資料プリント
備考	
15 項 目	模擬授業③の合同話し合い
学習目標・ポイント	教員養成科1年生も含めての討論会を行う
使用する材料	資料プリント
備考	

年 度	令和6年度
学 科	東洋療法教員養成学科
開 講 科 目 名	教育方法(演習)
担 当 教 員	戸田和樹
カリキュラム名	教育と教員
単 位 数 (時 間 数)	2(30)
配 当 年 次	2年次
部	昼間部
授 業 形 態	演習
開 講 期 間	後期
授 業 概 要 ・ 目 的	①アクティブ・ラーニングとはどのような学習方法かを知る。②鍼灸医療教育でアクティブ・ラーニングを取り入れる必然性を理解し、実践的授業力を身につける。
到 達 目 標	教育実践を研究する立場として、授業計画・実践・実践報告を行うことができる。
成績評価方法及び基準	【全科目共通事項】 必要出席数『「学生のしおり」I 教務(授業) 10試験について【必要出席数】』に準ずる。 試験(レポート)70%、平常授業10%、出席20%で評価する。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『「学生のしおり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教育・実務業績	2016年度より大阪医療技術学園東洋医療技術教員養成科にて、教育学概論・教育法法学Ⅰ・Ⅱ・教育実習を担当する。 1976年京都市立小学校。1987年京都教育大学附属京都小学校。2014年京都教育大学指導教諭。 2016年京都教育大学附属京都小中学校非常勤講師。在任中、実践教育方法学の研究を行い、全国発表(全国小学校国語科研究会・大村はま記念研究会など)・大阪国語教育者協議会委員、京都国語の会主催 2014年和歌山県新宮市学力向上推進検討委員会会長 詩人・童話作家 第20回新美南吉童話賞最優秀賞(文部科学大臣奨励賞)「かげつなぎ」 第2回徒然草エッセイ大賞「人間教師への旅立ち」 キッズエクスプレス21童話コンテスト文部科学大臣賞「夏のきっぷ」 第54回詩人会議新人賞「かくれてへんかー」 第3回ふう太の杜 常田富士夫文学賞「雪の馬」 28回岐阜県文芸祭児童文学部門文芸大賞「白いきつねてつどう」など

1 項 目	実践報告の進め方を知ることができる。
学習目標・ポイント	教育方法Ⅱの学習のまとめの報告としての資料の集め方を知る。
使用する材料	シラバス等配布予定
備考	
2 項 目	アクティブ・ラーニングを取り入れた学習とはどんな学習か知ることができる。
学習目標・ポイント	アクティブ・ラーニングとはどのような学習活動かを知るとともに、それを身につけるためにはどのような学習を行ったらいいかを話し合う。
使用する材料	資料プリント配布
備考	
3 項 目	主体的な学習とはどんな学習か考えることができる。
学習目標・ポイント	受動的な学習と能動的な学習の違いを考える。
使用する材料	資料プリント配布
備考	
4 項 目	対話的な学習および深い学びのある学習とはどんな学習か考えることができる。
学習目標・ポイント	アクティブ・ラーニングがなぜ取り入れられたかを考える。
使用する材料	資料プリント配布
備考	
5 項 目	発想の転換を図る授業のあり方を考える。①
学習目標・ポイント	鍼灸医療を題材にして絵本を作ってみる。
使用する材料	資料プリント配布
備考	
6 項 目	発想の転換を図る授業のあり方を考える。②
学習目標・ポイント	鍼灸医療を題材にして絵本を作り、作った感想を交流する。
使用する材料	資料プリント配布
備考	
7 項 目	発想の転換を図る授業のあり方を考える。③
学習目標・ポイント	症例検証を行ってみる。
使用する材料	資料プリント配布
備考	
8 項 目	PDCAサイクルのC(評価)について、自己評価のあり方、生徒の評価のあり方について考えることができる。
学習目標・ポイント	評価と評定の違い、記述する評価などを知る。
使用する材料	資料プリント配布
備考	
9 項 目	PDCAサイクル C(評価)における思考力をテストを作成する。①
学習目標・ポイント	灸の出題範囲を与え、思考力をテストする問題を作成してみる。
使用する材料	資料プリント配布
備考	
10 項 目	PDCAサイクル C(評価)における思考力をテストを作成する。②
学習目標・ポイント	思考力をテストする問題を実施し、感想を交流する。
使用する材料	資料プリント配布
備考	
11 項 目	実践報告①(60分報告 30分話し合い)教育実習実践授業を素材にする
学習目標・ポイント	自己の提案したい内容について報告する。
使用する材料	資料プリント配布
備考	
12 項 目	実践報告②(60分報告 30分話し合い)教育実習実践授業を素材にする
学習目標・ポイント	自己の提案したい内容について報告する。
使用する材料	実践報告資料
備考	
13 項 目	実践報告③(報告60分 話し合い30分)教育実習実践授業を素材にする。
学習目標・ポイント	自己の提案したい内容について報告する。
使用する材料	資料プリント配布
備考	
14 項 目	鍼灸教育のあり方を見直し、今後の見直しを持つことができる。
学習目標・ポイント	知識偏重型の教育からの脱却を図る
使用する材料	資料プリント配布]
備考	
15 項 目	レポート作成
学習目標・ポイント	教育法法学Ⅱに関わる課題を通して、レポートを記述する。
使用する材料	
備考	

年 度	令和6年度
学 科	東洋療法教員養成学科
開 講 科 目 名	教育実習
担 当 教 員	内野 容子
カリキュラム名	教育と教員
単 位 数 (時 間 数)	2(60)
配 当 年 次	2年次
部	昼間部
授 業 形 態	実習
開 講 期 間	通年
授 業 概 要 ・ 目 的	各教職科目及び専門・専門基礎科目で履修し修得した知識や技術を基礎・基本にして、実際の専門学校現場で教育実習を行う。そのための事前指導また専門学校現場で実践的な指導を受ける。また、学生の実態に即した具体的な教育内容、技法、態度等を学び、工夫改善する態度を培わせる。更に教育実習を自己評価し教師としての資質、能力、職業観、教職適性の有無を探求させる。実際の現場に立ち、学生と共に学び合い、自らの教員としての資質、能力、職業観、教職適性の有無を探求する。
到 達 目 標	①教員としての資質、能力、職業観、教職適性の有無を探求させる。 ②学生の実態に即した具体的な教育内容、技法、態度等を体験させる。 ③授業を行う上での指導計画案の具体的な作成を行う。 ④社会人としてのエチケット、マナーの修得し実践する。
成績評価方法及び基準	必要出席数『学生のしおり』I教務(授業)10試験について【必要出席数】』に準ずる。 出席状況や実習態度で評価を行う。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『学生のしおり』Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 授業の妨害(私語、多科目の勉強、寝る)は、口頭で注意する。
教育・実務業績	【教育業績】 平成15年4月～現在まで 平成医療学園専門学校 鍼灸師科教員 平成医療学園専門学校 鍼灸師科教員として在籍 平成17年4月～平成21年3月31日 大阪大学専修学校研修員 大阪大学 歯学部 解剖学教室にて解剖を行う。 【実務業績】 平成22年4月～平成23年3月31日 大阪大学歯学部附属病院 病院研修生 大阪大学歯学部附属病院 歯科麻酔科 鍼灸研修生として在籍 頭頸部の痛みや麻痺の鍼灸治療を行う。 【研究実績】 鍼治療とB型・C型肝炎感染に関する文献レビュー 2016年8月 全日本鍼灸学会雑誌(0285-9955)66巻3号 p166-179 鍼治療と肝炎感染の関連についての文献レビューにおけるハンドサーチの重要性 システマティック・レビューの変法による検証 2017年8月 全日本鍼灸学会雑誌(0285-9955)67巻3号 p201-214

1	項目	授業ガイダンス
	学習目標・ポイント	教育実習の進め方、注意事項について
	使用する材料	
	備考	
2	項目	授業ガイダンス
	学習目標・ポイント	聴講授業の決定
	使用する材料	
	備考	
3	項目	授業聴講①
	学習目標・ポイント	鍼灸師科の授業を聴講する
	使用する材料	
	備考	
4	項目	授業聴講②
	学習目標・ポイント	鍼灸師科の授業を聴講する
	使用する材料	
	備考	
5	項目	授業聴講③
	学習目標・ポイント	鍼灸師科の授業を聴講する
	使用する材料	
	備考	
6	項目	授業聴講レポート作成およびディスカッション①
	学習目標・ポイント	聴講した授業の良かった点、課題など発表をおこなう。
	使用する材料	
	備考	
7	項目	授業聴講レポート作成およびディスカッション②
	学習目標・ポイント	聴講した授業の良かった点、課題など発表をおこなう。
	使用する材料	
	備考	
8	項目	授業聴講レポート作成およびディスカッション③
	学習目標・ポイント	聴講した授業の良かった点、課題など発表をおこなう。
	使用する材料	
	備考	
9	項目	鍼灸師養成校のカリキュラムについて(学校・単位・単位時間とは)
	学習目標・ポイント	1条校学校とは？単位制とは？単位時間とは？
	使用する材料	
	備考	
10	項目	鍼灸師養成校のカリキュラムについて(ガイドラインより)
	学習目標・ポイント	養成校の設置基準やカリキュラムについて理解を深める
	使用する材料	
	備考	
11	項目	理想とする時間割作成
	学習目標・ポイント	実際に自身が必要と思う科目時間を考える
	使用する材料	
	備考	
12	項目	理想とする時間割作成
	学習目標・ポイント	実際に自身が必要と思う科目時間を考える
	使用する材料	
	備考	
13	項目	1科目選択し15コマのシラバス作成
	学習目標・ポイント	科目を担当したとしてシラバス作成をしてみる
	使用する材料	
	備考	
14	項目	実施科目選択およびおよび指導教員との打合せ
	学習目標・ポイント	
	使用する材料	
	備考	
15	項目	実施科目選択およびおよび指導教員との打合せ
	学習目標・ポイント	
	使用する材料	
	備考	

年 度	令和6年度
学 科	東洋療法教員養成学科
開 講 科 目 名	教育実習
担 当 教 員	内野 容子
カ リ キ ュ ラ ム 名	教育と教員
単 位 数 (時 間 数)	2(60)
配 当 年 次	2年次
部	昼間部
授 業 形 態	実習
開 講 期 間	通年
授 業 概 要 ・ 目 的	各教職科目及び専門・専門基礎科目で履修し修得した知識や技術を基礎・基本にして、実際の専門学校現場で教育実習を行う。そのための事前指導また専門学校現場で実践的な指導を受ける。また、学生の実態に即した具体的な教育内容、技法、態度等を学び、工夫改善する態度を培わせる。更に教育実習を自己評価し教師としての資質、能力、職業観、教職適性の有無を探求させる。実際の現場に立ち、学生と共に学び合い、自らの教員としての資質、能力、職業観、教職適性の有無を探求する。
到 達 目 標	①教員としての資質、能力、職業観、教職適性の有無を探求させる。 ②学生の実態に即した具体的な教育内容、技法、態度等を体験させる。 ③授業を行う上での指導計画案の具体的な作成を行う。 ④社会人としてのエチケット、マナーの修得し実践する。
成績評価方法及び基準	必要出席数『「学生のしおり」I 教務(授業) 10試験について【必要出席数】』に準ずる。 出席状況や実習態度で評価を行う。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『「学生のしおり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 授業の妨害(私語、多科目の勉強、寝る)は、口頭で注意する。
教 育 ・ 実 務 業 績	【教育業績】 平成15年4月～現在まで 平成医療学園専門学校 鍼灸師科教員 平成医療学園専門学校 鍼灸師科教員として在籍 平成17年4月～平成21年3月31日 大阪大学専修学校研修員 大阪大学 歯学部 解剖学教室にて解剖を行う。 【実務業績】 平成22年4月～平成23年3月31日 大阪大学歯学部附属病院 病院研修生 大阪大学歯学部附属病院 歯科麻酔科 鍼灸研修生として在籍 頭頸部の痛みや麻痺の鍼灸治療を行う。 【研究実績】 鍼治療とB型・C型肝炎感染に関する文献レビュー 2016年8月 全日本鍼灸学会雑誌(0285-9955)66巻3号 p166-179 鍼治療と肝炎感染の関連についての文献レビューにおけるハンドサーチの重要性 システマティック・レビューの変法による検証 2017年8月 全日本鍼灸学会雑誌(0285-9955)67巻3号 p201-214

16 項	目	授業指導計画1の作成(教科担当による指導)
学習目標・ポイント		作成提出後、教科担当のアドバイスをうけ修正
使用する材料		
備考		
17 項	目	授業指導計画2の作成(教科担当による指導)
学習目標・ポイント		作成提出後、教科担当のアドバイスをうけ修正
使用する材料		
備考		
18 項	目	授業資料作成、提出、教科担当による指導 1回目
学習目標・ポイント		担当する授業の資料を作成し教科担当の指導を受ける
使用する材料		
備考		
19 項	目	授業資料作成、提出、教科担当による指導 2回目
学習目標・ポイント		担当する授業の資料を作成し教科担当の指導を受ける
使用する材料		
備考		
20 項	目	授業資料作成、提出、教科担当による指導 3回目
学習目標・ポイント		担当する授業の資料を作成し教科担当の指導を受ける
使用する材料		
備考		
21 項	目	模擬授業1回目
学習目標・ポイント		
使用する材料		
備考		
22 項	目	教科担当、見学者からのフィードバック
学習目標・ポイント		
使用する材料		
備考		
23 項	目	模擬授業2回目
学習目標・ポイント		
使用する材料		
備考		
24 項	目	教科担当、見学者からのフィードバック
学習目標・ポイント		
使用する材料		
備考		
25 項	目	鍼灸師科で実際に授業を担当 1回目
学習目標・ポイント		
使用する材料		
備考		
26 項	目	教科担当、見学者からのフィードバック
学習目標・ポイント		
使用する材料		
備考		
27 項	目	鍼灸師科で実際に授業を担当 2回目
学習目標・ポイント		
使用する材料		
備考		
28 項	目	教科担当、見学者からのフィードバック
学習目標・ポイント		
使用する材料		
備考		
29 項	目	他の学生の授業見学
学習目標・ポイント		他者の授業を見学し、自身の気づきにつなげる
使用する材料		
備考		
30 項	目	教育実習レポート作成
学習目標・ポイント		教育実習を振り返り、自身の気づきにつなげる
使用する材料		
備考		

年 度	令和6年度
学 科	東洋療法教員養成学科
開 講 科 目 名	人体形態学論(講義)
担 当 教 員	種村麻里
カ リ キ ュ ラ ム 名	人体の構造と機能
単 位 数 (時 間 数)	1(30)
配 当 年 次	2年次
部	昼間部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	前期
授 業 概 要 ・ 目 的	解剖学は、健康な人の形態と機能を学ぶ学問であり、すべての臨床医学の基礎となるものである。人体形態学論(講義)では、血液をはじめとする体液を循環させる循環器系、体に酸素を取り込み炭酸ガスを放出する呼吸器系、栄養を取り込む消化器系について学習する。
到 達 目 標	解剖学の循環器系、呼吸器系、消化器系について理解し、わかりやすく授業を行うことができる。
成績評価方法及び基準	【全科目共通事項】 必要出席数『学生のしおり』I 教務(授業) 10試験について【必要出席数】に準ずる。 単位認定試験50%、レポート50%を合わせて100%で評価を行う。レポートの形式・内容については講義内で伝える。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『学生のしおり』Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教育・実務業績	<p>1. 担当科目における教育上の業績</p> <p>平成15年4月～平成17年3月 明治東洋医学院専門学校 非常勤講師 生理学を担当する</p> <p>平成17年2月～平成19年1月 大阪鳳林医療学院 鍼灸学科専任講師 生理学、公衆衛生学、鍼灸学実技を担当する</p> <p>平成19年4月～平成22年3月 白鳳女子短期大学 非常勤講師 生理学、公衆衛生学を担当する</p> <p>平成22年4月～現在に至る 阪奈中央リハビリテーション専門学校 非常勤講師 生理学を担当する</p> <p>平成22年4月～現在に至る 奈良リハビリテーション専門学校 非常勤講師 生理学を担当する</p> <p>平成23年4月～平成30年3月 白鳳短期大学 非常勤講師 生理学、公衆衛生学を担当する</p> <p>平成29年4月～現在に至る 宝塚医療大学 非常勤講師 生理学、解剖学を担当する</p> <p>令和5年～現在に至る 大阪国際大学短期大学部栄養学科 非常勤講師 解剖生理学を担当する</p> <p>2. 実務上の業績(臨床経験等)</p> <p>平成12年4月～平成21年3月 医療法人宮武内科 非常勤職員として診療補助、臨床研究を行う</p> <p>平成16年4月～平成31年3月 京都府立医科大学大学院地域医療保健疫学 研修員として在籍</p> <p>3. 主な研究業績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ PEF継続不可能な成人気管支喘息患者の心理的検討 平成12年3月 滋賀県立大学看護短期大学部雑誌 第4号P.1-6 ・ 高校生における肩こりと東洋医学的所見およびストレス要因との関連性について 平成12年7月 日本健康科学学会誌 第16巻3号P.223-235 ・ 基本健康診査受診者を対象としたQOL調査—EuroQol EQ-5Dを用いて— 平成13年8月 厚生学の指標 第48巻第8号P.22-27 ・ Effects of alendronate on bone mineral density and bone metabolic markers in postmenopausal asthmatic women treated with inhaled corticosteroids. 2005, Metabolism Clinical and Experimental, 54, p85-90

1 項 目	循環器系:循環器系の概要と血管の構造
学習目標・ポイント	循環器系の概要と血管の構造について理解する。
使用する材料	配布資料
備考	
2 項 目	循環器系:心臓
学習目標・ポイント	心臓について理解する。
使用する材料	配布資料
備考	
3 項 目	循環器系:動脈系
学習目標・ポイント	動脈系について理解する。
使用する材料	配布資料
備考	
4 項 目	循環器系:静脈系
学習目標・ポイント	静脈系について理解する。
使用する材料	配布資料
備考	
5 項 目	循環器系:胎児循環、リンパ系
学習目標・ポイント	胎児循環、リンパ系について理解する。
使用する材料	配布資料
備考	
6 項 目	呼吸器系:鼻腔、副鼻腔、喉頭
学習目標・ポイント	鼻腔、副鼻腔、喉頭について理解する。
使用する材料	配布資料
備考	
7 項 目	呼吸器系:気管、肺
学習目標・ポイント	気管、肺について理解する。
使用する材料	配布資料
備考	
8 項 目	消化器系:消化管の基本構造、口腔
学習目標・ポイント	消化管の基本構造、口腔について理解する。
使用する材料	配布資料
備考	
9 項 目	消化器系:咽頭、食道、胃
学習目標・ポイント	咽頭、食道、胃について理解する。
使用する材料	配布資料
備考	
10 項 目	消化器系:小腸、大腸
学習目標・ポイント	小腸、大腸について理解する。
使用する材料	配布資料
備考	
11 項 目	消化器系:肝胆膵、腹膜
学習目標・ポイント	肝胆膵、腹膜について理解する。
使用する材料	配布資料
備考	
12 項 目	模擬授業1
学習目標・ポイント	これまでの授業内容をふまえてわかりやすく説明する。
使用する材料	
備考	
13 項 目	模擬授業2
学習目標・ポイント	これまでの授業内容をふまえてわかりやすく説明する。
使用する材料	
備考	
14 項 目	模擬授業3
学習目標・ポイント	これまでの授業内容をふまえてわかりやすく説明する。
使用する材料	
備考	
15 項 目	模擬授業4
学習目標・ポイント	これまでの授業内容をふまえてわかりやすく説明する。
使用する材料	
備考	

年 度	令和6年度
学 科	東洋療法教員養成学科
開 講 科 目 名	人体形態学論(演習)
担 当 教 員	泉谷 泰行
カ リ キ ュ ラ ム 名	人体と構造と機能
単 位 数 (時 間 数)	1(30)
配 当 年 次	2年次
部	昼間部
授 業 形 態	演習
開 講 期 間	集中
授 業 概 要 ・ 目 的	解剖学は、医学・医療を志す学生が学修する重要な学問の一つである。解剖学では健康な人体の構造を学修する。人体形態学論(演習)では、運動器系について学ぶ。
到 達 目 標	専門用語の単なる丸暗記ではなく、第三者、特に教員養成科においては解剖学の初学者である学生に対しわかりやすく説明することができる。
成績評価方法及び基準	必要出席数『学生のしおり』I 教務(授業) 10試験について【必要出席数】に準ずる。 評価試験(授業内評価)で100%の評価を行う。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『学生のしおり』Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教 育 ・ 実 務 業 績	1. 担当科目における教育上の業績 平成20年4月～平成21年3月 日本統合メディカル学院鍼灸学科非常勤講師 臨床医学総論・はりきゅう理論を担当する。 平成20年4月～平成22年3月 バイオカレッジ京都バイオ工学学科非常勤講師 免疫学を担当する。 平成20年4月～平成28年3月 京都仏眼鍼灸医療専門学校非常勤講師 生理学・病理学概論・臨床医学総論・鍼灸理論などを担当する。 平成25年1月～令和2年3月 京都医健専門学校鍼灸学科非常勤講師 臨床医学総論・臨床医学各論・リハビリテーション医学・東洋医学概論・東洋医学臨床論などを担当する。 平成26年10月～平成31年3月 大和大学保健医療学部非常勤講師 解剖学・生理学・生化学・微生物と感染などを担当する。 平成28年4月～現在に至る 宝塚医療大学保健医療学部非常勤講師 解剖学・生理学などを担当する。 平成28年4月～令和2年3月 大阪医療技術学園専門学校東洋医療技術教員養成学科非常勤講師 人体機能学論Ⅰ・Ⅱなどを担当する。 2. 実務上の業績(臨床経験等) 平成22年4月～平成24年3月 Navia鍼灸院にて鍼灸師として在籍 平成24年4月～平成25年9月 京都大学こころの未来研究センターにて研修員として在籍 平成25年4月～平成27年3月 大阪大学大学院歯学研究科統合機能口腔学専攻高次能口腔機能学専攻にて鍼灸師(研修生)として在籍 平成25年4月～平成30年3月 センヤ鍼灸堂にて鍼灸師として在籍

1 項 目	運動器系の総論
学習目標・ポイント	骨格系および筋系の総論について説明できる。
使用する材料	配布資料
備考	
2 項 目	全身の骨格:脊柱、胸郭、上肢の骨格、下肢の骨格
学習目標・ポイント	脊柱、胸郭、上肢および下肢の骨格について説明できる。
使用する材料	配布資料
備考	
3 項 目	体幹:体幹の筋、体幹の運動、体幹の局所解剖
学習目標・ポイント	体幹の筋、運動、局所解剖について説明できる。
使用する材料	配布資料
備考	
4 項 目	体幹:体幹の脈管、体幹の神経
学習目標・ポイント	体幹の脈管、神経について説明できる。
使用する材料	配布資料
備考	
5 項 目	上肢:上肢の筋、上肢の運動、上肢の局所解剖
学習目標・ポイント	上肢の筋、運動、局所解剖について説明できる。
使用する材料	配布資料
備考	
6 項 目	上肢:上肢の脈管、上肢の神経
学習目標・ポイント	上肢の脈管、神経について説明できる。
使用する材料	配布資料
備考	
7 項 目	下肢:下肢の筋、下肢の運動、下肢の局所解剖
学習目標・ポイント	下肢の筋、運動、局所解剖について説明できる。
使用する材料	配布資料
備考	
8 項 目	下肢:下肢の脈管、下肢の神経
学習目標・ポイント	下肢の脈管、神経について説明できる。
使用する材料	配布資料
備考	
9 項 目	全身の骨格:頭蓋骨
学習目標・ポイント	頭蓋骨の構造について説明できる。
使用する材料	配布資料
備考	
10 項 目	頭頸部:頭頸部の筋、頭頸部の体表および局所解剖
学習目標・ポイント	頭頸部の筋、体表および局所解剖について説明できる。
使用する材料	配布資料
備考	
11 項 目	頭頸部:頭頸部の脈管、頭頸部の末梢神経
学習目標・ポイント	頭頸部の脈管、末梢神経について説明できる。
使用する材料	配布資料
備考	
12 項 目	模擬授業①
学習目標・ポイント	これまでの内容を踏まえ初学者に対し説明できる。
使用する材料	配布資料
備考	
13 項 目	模擬授業②
学習目標・ポイント	これまでの内容を踏まえ初学者に対し説明できる。
使用する材料	配布資料
備考	
14 項 目	模擬授業③
学習目標・ポイント	これまでの内容を踏まえ初学者に対し説明できる。
使用する材料	配布資料
備考	
15 項 目	模擬授業④
学習目標・ポイント	これまでの内容を踏まえ初学者に対し説明できる。
使用する材料	配布資料
備考	

年 度	令和6年度
学 科	東洋療法教員養成学科
開 講 科 目 名	人体形態学論(実習)
担 当 教 員	泉谷 泰行
カ リ キ ュ ラ ム 名	人体と構造と機能
単 位 数 (時 間 数)	1(30)
配 当 年 次	2年次
部	昼間部
授 業 形 態	実習
開 講 期 間	集中
授 業 概 要 ・ 目 的	解剖学は、医学・医療を志す学生が学修する重要な学問の一つである。解剖学では健康な人体の構造を学修する。人体形態学論(実習)では、泌尿器系、生殖器系、内分泌系、神経系、感覚器系について学ぶ。
到 達 目 標	専門用語の単なる丸暗記ではなく、第三者、特に教員養成科においては解剖学の初学者である学生に対しわかりやすく説明することができる。
成績評価方法及び基準	必要出席数『学生のしおり』I 教務(授業) 10試験について【必要出席数】に準ずる。 評価試験(授業内評価)で100%の評価を行う。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『学生のしおり』Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教 育 ・ 実 務 業 績	1. 担当科目における教育上の業績 平成20年4月～平成21年3月 日本統合メディカル学院鍼灸学科非常勤講師 臨床医学総論・はりきゅう理論を担当する。 平成20年4月～平成22年3月 バイオカレッジ京都バイオ工学学科非常勤講師 免疫学を担当する。 平成20年4月～平成28年3月 京都仏眼鍼灸理療専門学校非常勤講師 生理学・病理学概論・臨床医学総論・鍼灸理論などを担当する。 平成25年1月～令和2年3月 京都医健専門学校鍼灸学科非常勤講師 臨床医学総論・臨床医学各論・リハビリテーション医学・東洋医学概論・東洋医学臨床論などを担当する。 平成26年10月～平成31年3月 大和大学保健医療学部非常勤講師 解剖学・生理学・生化学・微生物と感染などを担当する。 平成28年4月～現在に至る 宝塚医療大学保健医療学部非常勤講師 解剖学・生理学などを担当する。 平成28年4月～令和2年3月 大阪医療技術学園専門学校東洋医療技術教員養成学科非常勤講師 人体機能学論Ⅰ・Ⅱなどを担当する。 2. 実務上の業績(臨床経験等) 平成22年4月～平成24年3月 Navia鍼灸院にて鍼灸師として在籍 平成24年4月～平成25年9月 京都大学こころの未来研究センターにて研修員として在籍 平成25年4月～平成27年3月 大阪大学大学院歯学研究科統合機能口腔学専攻高次能口腔機能学専攻にて鍼灸師(研修生)として在籍 平成25年4月～平成30年3月 センヤ鍼灸堂にて鍼灸師として在籍

1 項 目	泌尿器系:腎臓
学習目標・ポイント	腎臓について説明できる。
使用する材料	配布資料
備考	
2 項 目	泌尿器系:尿路
学習目標・ポイント	尿管、膀胱、尿道について説明できる。
使用する材料	配布資料
備考	
3 項 目	生殖器系:男性生殖器
学習目標・ポイント	精巣、精路、外生殖器について説明できる。
使用する材料	配布資料
備考	
4 項 目	生殖器系:女性生殖器
学習目標・ポイント	卵巣、卵管、子宮、膣、外生殖器について説明できる。
使用する材料	配布資料
備考	
5 項 目	生殖器系:受精と発生
学習目標・ポイント	受精、卵割、着床、胚葉の形成、胎盤について説明できる。
使用する材料	配布資料
備考	
6 項 目	内分泌系:下垂体、松果体、甲状腺、上皮小体
学習目標・ポイント	下垂体、松果体、甲状腺、上皮小体について説明できる。
使用する材料	配布資料
備考	
7 項 目	内分泌系:副腎、膵臓、性腺
学習目標・ポイント	副腎皮質、副腎髄質、膵臓、性腺について説明できる。
使用する材料	配布資料
備考	
8 項 目	神経系:神経系の構成、中枢神経系
学習目標・ポイント	神経系の構成、中枢神経系について説明できる。
使用する材料	配布資料
備考	
9 項 目	神経系:伝導路、末梢神経系
学習目標・ポイント	伝導路、末梢神経系について説明できる。
使用する材料	配布資料
備考	
10 項 目	感覚器系:視覚器
学習目標・ポイント	眼球、眼球の付属器について説明できる。
使用する材料	配布資料
備考	
11 項 目	感覚器系:平衡聴覚器
学習目標・ポイント	外耳、中耳、内耳について説明できる。
使用する材料	配布資料
備考	
12 項 目	感覚器系:味覚器、嗅覚器
学習目標・ポイント	味覚器、嗅覚器について説明できる。
使用する材料	配布資料
備考	
13 項 目	模擬授業①
学習目標・ポイント	これまでの内容を踏まえ初学者に対し説明できる。
使用する材料	配布資料
備考	
14 項 目	模擬授業②
学習目標・ポイント	これまでの内容を踏まえ初学者に対し説明できる。
使用する材料	配布資料
備考	
15 項 目	模擬授業③
学習目標・ポイント	これまでの内容を踏まえ初学者に対し説明できる。
使用する材料	配布資料
備考	

年 度	令和6年度
学 科	東洋療法教員養成学科
開 講 科 目 名	人体機能学論
担 当 教 員	永瀬 佳孝
カリキュラム名	人体と構造と機能
単 位 数 (時 間 数)	1(30)
配 当 年 次	2年次
部	昼間部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	前期
授 業 概 要 ・ 目 的	本授業では主にニューロンの電気現象に必要な数学、物理学、化学どのように関係するかについて学習し、それらの知識が生体の機能を説明するのに必要であることを理解し、教員となってからの授業に反映することを目的とする。
到 達 目 標	①ニューロンの電気現象について説明することができる。 ②活動電位、ブール代数、記号論理学、人間の活動について説明することができる。 ③物理学の運動と生体の運動が同じものであることを説明することができる。
成績評価方法及び基準	【全科目共通事項】 必要出席数『学生のしおり』I 教務(授業) 10試験について【必要出席数】』に準ずる。 課題提出により評価を行う。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『学生のしおり』Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教育・実務業績	1、担当科目における教育上の業績 平成5年4月 大阪大学歯学部助手(解剖学及び組織学)(平成9年3月まで) 平成5年7月 メルボルン大学解剖及び細胞生物学講座客員研究員(感覚生理学)(平成7年6月まで) 平成9年4月 大阪大学大学院歯学研究科助手(神経解剖学)(平成13年3月まで) 平成9年4月 大阪大学共通教育機構非常勤講師(情報活用基礎)(平成13年3月まで) 平成13年4月 北海道医療大学歯学部講師(口腔生理学、生理学)(平成14年7月まで) 平成14年8月 社団法人さきた歯科 院長(歯科医師)(平成15年3月まで) 平成15年4月 森ノ宮医療学園専門学校柔道整復学科非常勤講師(解剖学)(平成16年3月まで) 平成15年4月 国際東洋医療柔整学院(生理学)非常勤講師(平成19年3月まで) 平成15年4月 東洋医療専門学校鍼灸師科(生理学)非常勤講師(平成17年3月まで) 平成15年4月 アイシーケア専門学校理学療法学科(生理学)非常勤講師(平成17年3月まで) 平成15年4月 アイシーケア専門学校作業療法学科(現専門学校JMMMA ACADEMY 郡山)(生理学)非常勤講師(平成19年3月まで) 平成16年4月 森ノ宮医療大学設置準備室、森ノ宮医療学園専門学校専任教員(平成19年3月まで) 平成16年4月 大阪鳳林医療学院鍼灸学科・柔整学科非常勤講師(生理学)(平成19年3月まで) 平成17年4月 東洋医療専門学校柔道整復師科非常勤講師(生理学)(現在に至る) 平成17年4月 行岡整復専門学校整復科非常勤講師(病理学)(平成18年3月まで) 平成17年4月 西日本柔道整復専門学校非常勤講師(生理学)(平成25年3月まで) 平成19年4月 森ノ宮医療大学保健医療学部教授(生理学)((2011年から大学院、平成28年3月まで) 平成20年4月 大阪大学歯学部非常勤講師(口腔解剖学)(平成21年3月まで) 平成21年4月 大阪大学大学院歯学研究科招へい研究員(神経解剖学・神経生理学)(令和3年3月まで) 平成28年4月 宝塚医療大学保健医療学部教授(神経解剖学、神経生理学)教授(現在に至る) 2、実務上の業績(臨床経験等) ※業績がない場合は記入不要です。 平成元年6月より10ヶ月間、医療法人豊済会小曽根病院にて歯科医師としての実務経験あり。 平成2年4月より3年3ヶ月、中川歯科医院(大阪市平野区)にて、歯科医師としての実務経験あり。 平成14年8月より8ヶ月間、社団法人さきた歯科(兵庫県川西市)にて歯科医師としての実務経験あり。

1 項 目	細胞膜
学習目標・ポイント	等価回路を説明できる。
使用する材料	
備考	参考文献を授業で紹介
2 項 目	静止電位
学習目標・ポイント	等価回路を説明できる。
使用する材料	
備考	
3 項 目	活動電位 Hodgkin-Huxley Model.
学習目標・ポイント	等価回路を説明できる。
使用する材料	
備考	参考文献を授業で紹介
4 項 目	興奮伝導
学習目標・ポイント	数学的に説明できる。
使用する材料	
備考	参考文献を授業で紹介
5 項 目	シナプス
学習目標・ポイント	数学的に説明できる。
使用する材料	
備考	参考文献を授業で紹介
6 項 目	ブール代数と神経回路
学習目標・ポイント	数学的に説明できる。
使用する材料	
備考	参考文献を授業で紹介
7 項 目	時間と空間の表現
学習目標・ポイント	数学的に説明できる。
使用する材料	
備考	参考文献を授業で紹介
8 項 目	エネルギーと代謝
学習目標・ポイント	代謝を説明できる。
使用する材料	
備考	参考文献を授業で紹介
9 項 目	熱エネルギー
学習目標・ポイント	数学的に説明できる。
使用する材料	
備考	参考文献を授業で紹介
10 項 目	運動の法則
学習目標・ポイント	数学的に説明できる。
使用する材料	
備考	参考文献を授業で紹介
11 項 目	運動と空間
学習目標・ポイント	数学的に説明できる。
使用する材料	
備考	参考文献を授業で紹介
12 項 目	空間の脳内表現
学習目標・ポイント	数学的に説明できる。
使用する材料	
備考	参考文献を授業で紹介
13 項 目	意識1
学習目標・ポイント	数学的に説明できる。
使用する材料	
備考	参考文献を授業で紹介
14 項 目	意識2
学習目標・ポイント	数学的に説明できる。
使用する材料	
備考	参考文献を授業で紹介
15 項 目	意識3
学習目標・ポイント	数学的に説明できる。
使用する材料	
備考	参考文献を授業で紹介

年 度	令和6年度
学 科	東洋療法教員養成学科
開 講 科 目 名	人体機能学論(演習)
担 当 教 員	永瀬 佳孝
カ リ キ ュ ラ ム 名	人体と構造と機能
単 位 数 (時 間 数)	1(30)
配 当 年 次	2年次
部	昼間部
授 業 形 態	演習
開 講 期 間	集中
授 業 概 要 ・ 目 的	本授業では、最初に、神経系を構成する細胞の形態と機能、特にその電気現象について学習する。次いで運動の調節について学習し、脊髄や脳幹における反射を中心として要素的な運動調節のレベルから、脳幹・小脳・大脳基底核・大脳皮質など上位中枢による運動の調節について学習する。
到 達 目 標	①神経細胞の電気現象について説明することができる。 ②運動の調節について説明することができる。 ③感覚から運動への変換について説明することができる。
成績評価方法及び基準	【全科目共通事項】 必要出席数『学生のしおり』I 教務(授業) 10試験について【必要出席数】』に準ずる。 評価試験(授業内評価)で100%の評価を行う。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『学生のしおり』Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教育・実務業績	1、担当科目における教育上の業績 平成5年4月 大阪大学歯学部助手(解剖学及び組織学)(平成9年3月まで) 平成5年7月 メルボルン大学解剖及び細胞生物学講座客員研究員(感覚生理学)(平成7年6月まで) 平成9年4月 大阪大学大学院歯学研究科助手(神経解剖学)(平成13年3月まで) 平成9年4月 大阪大学共通教育機構非常勤講師(情報活用基礎)(平成13年3月まで) 平成13年4月 北海道医療大学歯学部講師(口腔生理学、生理学)(平成14年7月まで) 平成14年8月 社団法人さきた歯科 院長(歯科医師)(平成15年3月まで) 平成15年4月 森ノ宮医療学園専門学校柔道整復学科非常勤講師(解剖学)(平成16年3月まで) 平成15年4月 国際東洋医療柔整学院(生理学)非常勤講師(平成19年3月まで) 平成15年4月 東洋医療専門学校鍼灸師科(生理学)非常勤講師(平成17年3月まで) 平成15年4月 アイシーケア専門学校理学療法学科(生理学)非常勤講師(平成17年3月まで) 平成15年4月 アイシーケア専門学校作業療法学科(現専門学校JMMMA ACADEMY 郡山)(生理学)非常勤講師(平成19年3月まで) 平成16年4月 森ノ宮医療大学設置準備室、森ノ宮医療学園専門学校専任教員(平成19年3月まで) 平成16年4月 大阪鳳林医療学院鍼灸学科・柔整学科非常勤講師(生理学)(平成19年3月まで) 平成17年4月 東洋医療専門学校柔道整復師科非常勤講師(生理学)(現在に至る) 平成17年4月 行岡整復専門学校整復科非常勤講師(病理学)(平成18年3月まで) 平成17年4月 西日本柔道整復専門学校非常勤講師(生理学)(平成25年3月まで) 平成19年4月 森ノ宮医療大学保健医療学部教授(生理学)((2011年から大学院、平成28年3月まで) 平成20年4月 大阪大学歯学部非常勤講師(口腔解剖学)(平成21年3月まで) 平成21年4月 大阪大学大学院歯学研究科招へい研究員(神経解剖学・神経生理学)(令和3年3月まで) 平成28年4月 宝塚医療大学保健医療学部教授(神経解剖学、神経生理学)教授(現在に至る) 2、実務上の業績(臨床経験等) 平成元年年6月より10ヶ月間、医療法人豊済会小曾根病院にて歯科医師としての実務経験あり。 平成2年4月より3年3ヶ月、中川歯科医院(大阪市平野区)にて、歯科医師としての実務経験あり。 平成14年8月より8ヶ月間、社団法人さきた歯科(兵庫県川西市)にて歯科医師としての実務経験あり。

1 項 目	生理学の基礎
学習目標・ポイント	生理学を学ぶ意味 神経生理に必要な水に関する知識
使用する材料	
備考	参考文献を授業で紹介
2 項 目	神経系の基礎
学習目標・ポイント	神経系の構造、神経細胞、神経膠細胞
使用する材料	
備考	参考文献を授業で紹介
3 項 目	神経細胞の電気現象
学習目標・ポイント	静止膜電位、活動電位、伝導
使用する材料	
備考	参考文献を授業で紹介
4 項 目	神経細胞の電気現象
学習目標・ポイント	シナプス伝達、神経伝達物質と受容体
使用する材料	
備考	参考文献を授業で紹介
5 項 目	骨格筋
学習目標・ポイント	構造と興奮収縮連関
使用する材料	
備考	参考文献を授業で紹介
6 項 目	心筋と平滑筋 脊髄と反射
学習目標・ポイント	構造と機能の関係
使用する材料	
備考	参考文献を授業で紹介
7 項 目	脊髄と反射
学習目標・ポイント	伸張反射、自原抑制、拮抗抑制、屈曲反射、交叉性伸展反射
使用する材料	
備考	参考文献を授業で紹介
8 項 目	脳幹
学習目標・ポイント	脳幹の構造と機能
使用する材料	
備考	参考文献を授業で紹介
9 項 目	小脳
学習目標・ポイント	小脳の構造と機能
使用する材料	
備考	参考文献を授業で紹介
10 項 目	大脳皮質
学習目標・ポイント	大脳皮質の構造と機能
使用する材料	
備考	参考文献を授業で紹介
11 項 目	高次脳機能
学習目標・ポイント	記憶と運動機能
使用する材料	
備考	参考文献を授業で紹介
12 項 目	大脳基底核、大脳辺縁系
学習目標・ポイント	大脳基底核および大脳辺縁系の構造と機能
使用する材料	
備考	参考文献を授業で紹介
13 項 目	自律神経系①
学習目標・ポイント	自律神経の構造と機能
使用する材料	
備考	参考文献を授業で紹介
14 項 目	自律神経系②
学習目標・ポイント	自律神経系の求心路・遠心路
使用する材料	
備考	参考文献を授業で紹介
15 項 目	自律神経系③
学習目標・ポイント	腸管神経系
使用する材料	
備考	参考文献を授業で紹介

年 度	令和6年度
学 科	東洋療法教員養成学科
開 講 科 目 名	人体機能学論(実習)
担 当 教 員	永瀬 佳孝
カ リ キ ュ ラ ム 名	人体と構造と機能
単 位 数 (時 間 数)	1(30)
配 当 年 次	2年次
部	昼間部
授 業 形 態	実習
開 講 期 間	後期
授 業 概 要 ・ 目 的	感覚機能を中心に、運動機能との関連や脳波、睡眠、情動などを学習する。触圧覚、温覚・冷覚、痛覚について学習する。視覚、聴覚、平衡感覚(前庭感覚)、化学感覚(味覚と嗅覚)について学習し、それらと行動との関連を学習する。また、内臓感覚についても学習し、自律機能との関連や睡眠、情動との関連を学習する。
到 達 目 標	①感覚器の構造と機能の関係を説明することができる。 ②感覚から運動への変換について説明することができる。 ③内臓感覚と自律機能の関連及び情動について説明することができる。
成 績 評 価 方 法 及 び 基 準	【全科目共通事項】 必要出席数『「学生のしおり」I 教務(授業) 10試験について【必要出席数】』に準ずる。 評価試験(授業内評価)で100%の評価を行う。
履 修 に あ た っ て の 注 意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『「学生のしおり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教 育 ・ 実 務 業 績	1、担当科目における教育上の業績 平成5年4月 大阪大学歯学部助手(解剖学及び組織学)(平成9年3月まで) 平成5年7月 メルボルン大学解剖及び細胞生物学講座客員研究員(感覚生理学)(平成7年6月まで) 平成9年4月 大阪大学大学院歯学研究科助手(神経解剖学)(平成13年3月まで) 平成9年4月 大阪大学共通教育機構非常勤講師(情報活用基礎)(平成13年3月まで) 平成13年4月 北海道医療大学歯学部講師(口腔生理学、生理学)(平成14年7月まで) 平成14年8月 社団法人さきた歯科 院長(歯科医師)(平成15年3月まで) 平成15年4月 森ノ宮医療学園専門学校柔道整復学科非常勤講師(解剖学)(平成16年3月まで) 平成15年4月 国際東洋医療柔整学院(生理学)非常勤講師(平成19年3月まで) 平成15年4月 東洋医療専門学校鍼灸師科(生理学)非常勤講師(平成17年3月まで) 平成15年4月 アイシーケア専門学校理学療法学科(生理学)非常勤講師(平成17年3月まで) 平成15年4月 アイシーケア専門学校作業療法学科(現専門学校JMMA ACADEMY 郡山)(生理学)非常勤講師(平成19年3月まで) 平成16年4月 森ノ宮医療大学設置準備室、森ノ宮医療学園専門学校専任教員(平成19年3月まで) 平成16年4月 大阪鳳林医療学院鍼灸学科・柔整学科非常勤講師(生理学)(平成19年3月まで) 平成17年4月 東洋医療専門学校柔道整復師科非常勤講師(生理学)(現在に至る) 平成17年4月 行岡整復専門学校整復科非常勤講師(病理学)(平成18年3月まで) 平成17年4月 西日本柔道整復専門学校非常勤講師(生理学)(平成25年3月まで) 平成19年4月 森ノ宮医療大学保健医療学部教授(生理学)(2011年から大学院、平成28年3月まで) 平成20年4月 大阪大学歯学部非常勤講師(口腔解剖学)(平成21年3月まで) 平成21年4月 大阪大学大学院歯学研究科招へい研究員(神経解剖学・神経生理学)(令和3年3月まで) 平成28年4月 宝塚医療大学保健医療学部教授(神経解剖学、神経生理学)教授(現在に至る) 2、実務上の業績(臨床経験等) 平成元年年6月より10ヶ月間、医療法人豊済会小曾根病院にて歯科医師としての実務経験あり。 平成2年4月より3年3ヶ月、中川歯科医院(大阪市平野区)にて、歯科医師としての実務経験あり。 平成14年8月より8ヶ月間、社団法人さきた歯科(兵庫県川西市)にて歯科医師としての実務経験あり。

1 項 目	感覚器の一般と触圧覚
学習目標・ポイント	感覚器の一般的な性質と触圧覚受容器の関連
使用する材料	
備考	参考文献を授業で紹介
2 項 目	視覚
学習目標・ポイント	眼球の構造と機能、視覚の伝導路
使用する材料	
備考	参考文献を授業で紹介
3 項 目	視覚
学習目標・ポイント	高次視覚野
使用する材料	
備考	参考文献を授業で紹介
4 項 目	聴覚
学習目標・ポイント	耳の構造と聴覚
使用する材料	
備考	参考文献を授業で紹介
5 項 目	聴覚
学習目標・ポイント	聴覚の伝導路と視覚との関連
使用する材料	
備考	参考文献を授業で紹介
6 項 目	平衡感覚(前庭感覚)
学習目標・ポイント	前庭感覚と姿勢の調節、平衡感覚と前庭感覚
使用する材料	
備考	参考文献を授業で紹介
7 項 目	眼球運動
学習目標・ポイント	眼球を動かす筋とその調節
使用する材料	
備考	参考文献を授業で紹介
8 項 目	味覚
学習目標・ポイント	舌の解剖と味覚
使用する材料	
備考	参考文献を授業で紹介
9 項 目	嗅覚
学習目標・ポイント	匂いの知覚とその特徴 情動との関連
使用する材料	
備考	参考文献を授業で紹介
10 項 目	体性感覚
学習目標・ポイント	タッチ
使用する材料	
備考	参考文献を授業で紹介
11 項 目	体性感覚
学習目標・ポイント	痛みと脳の機能
使用する材料	
備考	参考文献を授業で紹介
12 項 目	温度感覚
学習目標・ポイント	温覚と冷覚の特徴
使用する材料	
備考	参考文献を授業で紹介
13 項 目	睡眠
学習目標・ポイント	睡眠の神経機構
使用する材料	
備考	参考文献を授業で紹介
14 項 目	情動
学習目標・ポイント	感情と情動、情動の神経回路
使用する材料	
備考	参考文献を授業で紹介
15 項 目	多感覚統合
学習目標・ポイント	身体感覚
使用する材料	
備考	参考文献を授業で紹介

年 度	令和6年度
学 科	東洋療法教員養成学科
開 講 科 目 名	社会医学特論(講義)
担 当 教 員	山口敬治
カ リ キ ュ ラ ム 名	社会医学特論
単 位 数 (時 間 数)	2(60)
配 当 年 次	2年次
部	昼間部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	前期・後期
授 業 概 要 ・ 目 的	基本は単元毎の授業を行うが、公衆衛生上の特筆する事例発生時には、集中的にその事例ならびにその周辺について解説し、社会、生活、制度の関連を理解する。
到 達 目 標	公衆衛生学の歴史と現状を理解し、各単元の理論を説明できるようになること。
成績評価方法及び基準	【全科目共通事項】 必要出席数『学生のしおり』I 教務(授業) 10試験について【必要出席数】に準ずる。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『学生のしおり』Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教育・実務業績	(1400文字以内) 1. 担当科目における教育上の業績 昭和63年10月から平成2年9月 ザンビア大学獣医学部 上級講師 寄生虫学・公衆衛生学担当 平成29年4月から令和6年3月 大手前大学栄養学部 非常勤准教授 食品衛生学実習担当 平成30年4月から令和2年3月 大手前学園専門学校 非常勤准教授 公衆衛生学担当 平成30年4月から現在 平成医療学園専門学校 非常勤講師 衛生学・公衆衛生学担当 平成30年4月から現在 大阪調理・製菓専門学校 非常勤講師 公衆衛生学担当 2. 実務上の業績(臨床経験等) ※業績がない場合は記入不要です。 3. 研究業績 ○ 山口敬治(2002): 低脂肪乳による大規模食中毒の発生原因と今後の対応, 日本食品微生物学雑誌, 19(4), 151-155 ○ Aroon BANGTRAKULNONT, Srirat PORNRUNGWONG, Chaiwat PULSRIKARN, Sumaree BOONMAR, and Keiji YAMAGUCHI (2006): Recovery of Salmonella Using a Combination of Selective Enrichment Media and Antimicrobial Resistance of Isolates in Meat in Thailand, Southeast Asian J. Trop. Med. Public Health, 37, 742-746 ○ 山口敬治, 葛間明美, 森本洋, 池田徹也(2007): DNAフラグメント多型解析法による食中毒事例分離Bacillus cereus菌株の系統解析, 北海道立衛生研究所報, 57, 69-72 ○ 山口敬治, 池田徹也, 森本 洋(2008): 北海道においてまれに分離される血清型の志賀毒素産生性大腸菌の性状, 北海道立衛生研究所報, 58,43-46 ○ 山口敬治, 池田徹也, 熊田洋行, 玉手直人, 森本 洋, 清水俊一, 駒込理佳(2008):北海道における食中毒事例から分離された腸炎ピブリオ血清型の推移, 北海道立衛生研究所報, 58,99-100 ○ 池田徹也, 森本 洋, 清水俊一, 駒込理佳, 山口敬治(2008):黄色ブドウ球菌検出培地の性能比較, 北海道立衛生研究所報, 58,47-50 ○ 清水俊一, 森本 洋, 駒込理佳, 山口敬治(2008):北海道における食中毒発生状況(2003-2007), 北海道立衛生研究所報, 58,95-98 ○ 山口敬治, 池田徹也, 森本 洋(2009):北海道で分離されたバンコマイシン耐性腸球菌の分子疫学解析, 北海道立衛生研究所報, 59,57-60 ○ Keiko OGAWA, Keiji YAMAGUCHI, Masatsugu SUZUKI, Toshio TSUBOTA, Kenji OHYA and Hideto FUKUSHI (2011): Genetic Characteristics and Antimicrobial Resistance of Escherichia coli from Japanese Macaques (Macaca fuscata) in Rural Japan, J. Wildlife Diseases, 47(2), 261-270 ○ Tadasuke OOKA, Kazuko SETO, Kimiko KAWANO, Hideki KOBAYASHI, Yoshiki ETOH, Sachiko ICHIHARA, Akiko KANEKO, Junko ISOBE, Keiji YAMAGUCHI, Kazumi HORIKAWA, Tânia A.T. GOMES, Annick LINDEN, Marjorie BARDIAU, Jacques MAINIL, Lothar BEUTIN, Yoshitoshi OGURA, and Tetsuya HAYASHI(2012): Significant Prevalence of Escherichia albertii among the Strains Identified as Enteropathogenic and Enterohemorrhagic E. coli and the Presence of Shiga Toxin-producing E. albertii strains, Emerging Infect. Dis.

1	項目	公衆衛生概論
	学習目標・ポイント	公衆衛生の定義について複数の説明を用いて、公衆衛生というものを理解し説明できるようにする。
	使用する材料	プレゼンテーションファイルで実施。
	備考	項目の理解を進めるため、使用したプレゼンテーションファイルをpdfで提供する。
2	項目	公衆衛生の歴史
	学習目標・ポイント	人類の歴史と公衆衛生の歴史を学び、その必然を理解し説明できるようにする。
	使用する材料	プレゼンテーションファイルで実施。
	備考	項目の理解を進めるため、使用したプレゼンテーションファイルをpdfで提供する。
3	項目	公衆衛生行政
	学習目標・ポイント	我が国における公衆衛生行政と国、都道府県、市町村の関係を理解し説明できるようにする。
	使用する材料	プレゼンテーションファイルで実施。
	備考	項目の理解を進めるため、使用したプレゼンテーションファイルをpdfで提供する。
4	項目	医療行政
	学習目標・ポイント	我が国における医療行政と国、都道府県、市町村の関係を理解し説明できるようにする。
	使用する材料	プレゼンテーションファイルで実施。
	備考	項目の理解を進めるため、使用したプレゼンテーションファイルをpdfで提供する。
5	項目	健康の概要
	学習目標・ポイント	健康、疾病などの定義と健康管理ならびに衛生行政について説明できるようにする。
	使用する材料	プレゼンテーションファイルで実施。
	備考	項目の理解を進めるため、使用したプレゼンテーションファイルをpdfで提供する。
6	項目	健康管理
	学習目標・ポイント	健康管理について重要点を考え、健康保持の重要性について理解し説明できるようにする。
	使用する材料	プレゼンテーションファイルで実施。
	備考	項目の理解を進めるため、使用したプレゼンテーションファイルをpdfで提供する。
7	項目	ライフスタイルと健康
	学習目標・ポイント	我が国のライフスタイルの歴史をまなび社会制度との関連を理解し説明できるようにする。
	使用する材料	プレゼンテーションファイルで実施。
	備考	項目の理解を進めるため、使用したプレゼンテーションファイルをpdfで提供する。
8	項目	食品衛生
	学習目標・ポイント	食品衛生について、行政活動や食中毒発生時の対策などを理解し、説明できるようにする。
	使用する材料	プレゼンテーションファイルで実施。
	備考	項目の理解を進めるため、使用したプレゼンテーションファイルをpdfで提供する。
9	項目	食品表示・添加物
	学習目標・ポイント	整備統合された食品表示を理解し、添加物の使用についてその背景と現状を理解し、説明できるようにする。
	使用する材料	プレゼンテーションファイルで実施。
	備考	項目の理解を進めるため、使用したプレゼンテーションファイルをpdfで提供する。
10	項目	自然環境
	学習目標・ポイント	気候変動など近年言われる自然環境と人類との関係を理解し、説明できるようにする。
	使用する材料	プレゼンテーションファイルで実施。
	備考	項目の理解を進めるため、使用したプレゼンテーションファイルをpdfで提供する。
11	項目	公害
	学習目標・ポイント	日本の四大公害について理解し、それに至る経済発展や公害対策について理解し、説明できるようにする。
	使用する材料	プレゼンテーションファイルで実施。
	備考	項目の理解を進めるため、使用したプレゼンテーションファイルをpdfで提供する。
12	項目	生活衛生
	学習目標・ポイント	生活する上で必要な衛生に関する社会基盤をまなび、ライフライン維持について説明できるようにする。
	使用する材料	プレゼンテーションファイルで実施。
	備考	項目の理解を進めるため、使用したプレゼンテーションファイルをpdfで提供する。
13	項目	廃棄物処理・リサイクル
	学習目標・ポイント	廃棄物の処理と3Rについて学び、説明できるようにする。
	使用する材料	プレゼンテーションファイルで実施。
	備考	項目の理解を進めるため、使用したプレゼンテーションファイルをpdfで提供する。
14	項目	母子保健
	学習目標・ポイント	妊娠出産から幼児までの保健行政サービスについて体系的にまなび説明できるようにする。
	使用する材料	プレゼンテーションファイルで実施。
	備考	項目の理解を進めるため、使用したプレゼンテーションファイルをpdfで提供する。
15	項目	学校保健
	学習目標・ポイント	小学校から修飾までの学生時代の保健活動について理解し説明できるようにする。
	使用する材料	プレゼンテーションファイルで実施。
	備考	項目の理解を進めるため、使用したプレゼンテーションファイルをpdfで提供する。

16 項 目	産業保健
学習目標・ポイント	就職したのち退職するまでの保健活動について理解し説明できるようにする。
使用する材料	プレゼンテーションファイルで実施。
備考	項目の理解を進めるため、使用したプレゼンテーションファイルをpdfで提供する。
17 項 目	労働条件と労働者保護
学習目標・ポイント	労働基本法をはじめとする労働者保護のシステムを学び説明できるようにする。
使用する材料	プレゼンテーションファイルで実施。
備考	項目の理解を進めるため、使用したプレゼンテーションファイルをpdfで提供する。
18 項 目	精神保健
学習目標・ポイント	近年増加する精神保健の問題について社会の現状とともに学び理解する。
使用する材料	プレゼンテーションファイルで実施。
備考	項目の理解を進めるため、使用したプレゼンテーションファイルをpdfで提供する。
19 項 目	高齢者保健
学習目標・ポイント	老後の健康維持、やりがい確保など高齢者保健の活動を学び説明できるようにする。
使用する材料	プレゼンテーションファイルで実施。
備考	項目の理解を進めるため、使用したプレゼンテーションファイルをpdfで提供する。
20 項 目	生活習慣病
学習目標・ポイント	生活習慣病発生にいたるメカニズムを理解し、防止するための手段を学び説明できるようにする。
使用する材料	プレゼンテーションファイルで実施。
備考	項目の理解を進めるため、使用したプレゼンテーションファイルをpdfで提供する。
21 項 目	年金・健康保健
学習目標・ポイント	年金保険、健康保健など社会福祉システムを体系的に理解し説明できるようにする。
使用する材料	プレゼンテーションファイルで実施。
備考	項目の理解を進めるため、使用したプレゼンテーションファイルをpdfで提供する。
22 項 目	年金・健康保険
学習目標・ポイント	年金保険、健康保健など社会福祉システムを体系的に理解し説明できるようにする。
使用する材料	プレゼンテーションファイルで実施。
備考	項目の理解を進めるため、使用したプレゼンテーションファイルをpdfで提供する。
23 項 目	感染症1
学習目標・ポイント	感染症の原因物質、流行の現状、対策までの流れを学び説明できるようにする。
使用する材料	プレゼンテーションファイルで実施。
備考	項目の理解を進めるため、使用したプレゼンテーションファイルをpdfで提供する。
24 項 目	感染症2
学習目標・ポイント	個別の感染症について理解を深め説明できるようにする。
使用する材料	プレゼンテーションファイルで実施。
備考	項目の理解を進めるため、使用したプレゼンテーションファイルをpdfで提供する。
25 項 目	感染症3
学習目標・ポイント	特に、近年問題になっている感染症について重点的に学び説明できるようにする。
使用する材料	プレゼンテーションファイルで実施。
備考	項目の理解を進めるため、使用したプレゼンテーションファイルをpdfで提供する。
26 項 目	消毒法
学習目標・ポイント	殺菌、消毒などの言葉を理解し、消毒法について説明できるようにする。
使用する材料	プレゼンテーションファイルで実施。
備考	項目の理解を進めるため、使用したプレゼンテーションファイルをpdfで提供する。
27 項 目	疫学1
学習目標・ポイント	疫学に関する言葉の定義への理解を深め、使用される疫学方法について説明できるようにする。
使用する材料	プレゼンテーションファイルで実施。
備考	項目の理解を進めるため、使用したプレゼンテーションファイルをpdfで提供する。
28 項 目	疫学2
学習目標・ポイント	疫学に関する言葉の定義への理解を深め、使用される疫学方法について説明できるようにする。
使用する材料	プレゼンテーションファイルで実施。
備考	項目の理解を進めるため、使用したプレゼンテーションファイルをpdfで提供する。
29 項 目	衛生統計1
学習目標・ポイント	衛生統計について定義、測定方法などを学び、その違いを理解し説明できるようにする。
使用する材料	プレゼンテーションファイルで実施。
備考	項目の理解を進めるため、使用したプレゼンテーションファイルをpdfで提供する。
30 項 目	衛生統計2
学習目標・ポイント	衛生統計について定義、測定方法などを学び、その違いを理解し説明できるようにする。
使用する材料	プレゼンテーションファイルで実施。
備考	項目の理解を進めるため、使用したプレゼンテーションファイルをpdfで提供する。

年 度	令和6年度
学 科	東洋療法教員養成学科
開 講 科 目 名	あはき臨床論(講義)
担 当 教 員	松元 隆司
カ リ キ ュ ラ ム 名	東洋医学特論
単 位 数 (時 間 数)	2(60)
配 当 年 次	2年次
部	昼間部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	後期
授 業 概 要 ・ 目 的	スポーツ現場に於いてコンディショニングについて機能解剖を基本にマッサージ、ストレッチ、エクササイズを中心として身体評価とコンディショニングで出来る事知識をもつ。
到 達 目 標	上記の目的に向かって具体的に知識を現場で選手に実感させる技術を持つ。
成績評価方法及び基準	【全科目共通事項】 必要出席数『「学生のしおり」I 教務(授業) 10試験について【必要出席数】』に準ずる。 評価試験(授業内評価)で100%の評価を行う。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『「学生のしおり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教育・実務業績	担当科目における教育上の業績(1400文字以内) 1980～2001 阪急ブレーブス・オリックスブルーウェーブでトレーナーとして就業 トレーナー業務の実践 2003～現在 大阪医専 非常勤講師 スポーツ医学 I マッサージ概論担当 2008～2011 名古屋医専 専任教員 コンディショニング担当 2016～2020 明治国際医療大学 特任教授 スポーツ柔整学、アスレチックリハビリ担当

1	項目	コンディショニングの意味
	学習目標・ポイント	現場に於いてのコンディショニングの目的
	使用する材料	
	備考	
2	項目	チームストレナーの役割
	学習目標・ポイント	選手の障害予防を主として予防について
	使用する材料	
	備考	
3	項目	障害予防のコンディショニング
	学習目標・ポイント	障害予防に関する評価と治療
	使用する材料	
	備考	
4	項目	投球障害について
	学習目標・ポイント	全身運動のメカニズムと評価
	使用する材料	
	備考	
5	項目	コンディショニングの実際
	学習目標・ポイント	マッサージ、ストレッチ、エクササイズ(トレーニング)を考える
	使用する材料	
	備考	
6	項目	足底からの運動連鎖
	学習目標・ポイント	回内足・回外足・開張足の身体への影響
	使用する材料	
	備考	
7	項目	足アーチの重要性
	学習目標・ポイント	足底の動きと機能不全のコンディショニング 回内足回外足からの障害
	使用する材料	
	備考	
8	項目	下腿から膝
	学習目標・ポイント	機能不全による障害 シンスプリントete外脛骨
	使用する材料	
	備考	
9	項目	膝から大腿
	学習目標・ポイント	股関節と足から膝への影響 knee-intoe-out knee-outo too-in
	使用する材料	
	備考	
10	項目	大腿と股関節と腰椎
	学習目標・ポイント	腰痛のメカニズム(腰椎骨盤リズム)
	使用する材料	
	備考	
11	項目	体幹エクササイズ的重要性
	学習目標・ポイント	体幹エクササイズの意義 腹圧の概念
	使用する材料	
	備考	
12	項目	腸腰筋と胸腰腱膜
	学習目標・ポイント	股関節、屈筋と大殿筋の関係 矢状面のマッスルバランスの考え方
	使用する材料	
	備考	
13	項目	肩甲骨の動きと姿勢
	学習目標・ポイント	円背が肩甲骨に与える影響 肩甲骨外転、ローテーターカフへの影響
	使用する材料	
	備考	
14	項目	前方頭位(肩こり)の考え方
	学習目標・ポイント	緊張筋と弛緩筋 アツパークロスシンドローム
	使用する材料	
	備考	
15	項目	腰痛肩こりの運動連鎖
	学習目標・ポイント	全身からの考察
	使用する材料	
	備考	

年 度	令和6年度
学 科	東洋療法教員養成学科
開 講 科 目 名	あはき臨床論(講義)
担 当 教 員	松元 隆司
カ リ キ ュ ラ ム 名	東洋医学特論
単 位 数 (時 間 数)	2(60)
配 当 年 次	2年次
部	昼間部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	後期
授 業 概 要 ・ 目 的	スポーツ現場に於いてコンディショニングについて機能解剖を基本にマッサージ、ストレッチ、エクササイズを中心として身体評価とコンディショニングで出来る事知識をもつ。
到 達 目 標	上記の目的に向かって具体的に知識を現場で選手に実感させる技術を持つ。
成績評価方法及び基準	【全科目共通事項】 必要出席数『「学生のしおり」I 教務(授業) 10試験について【必要出席数】』に準ずる。 評価試験(授業内評価)で100%の評価を行う。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『「学生のしおり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教 育 ・ 実 務 業 績	担当科目における教育上の業績(1400文字以内) 1980～2001 阪急ブレーブス・オリックスブルーウェーブでトレーナーとして就業 トレーナー業務の実践 2003～現在 大阪医専 非常勤講師 スポーツ医学 I マッサージ概論担当 2008～2011 名古屋医専 専任教員 コンディショニング担当 2016～2020 明治国際医療大学 特任教授 スポーツ柔整学、アスレチックリハビリ担当

16 項	目	鍼灸師ができるコンディショニング
学習目標・ポイント		コンディショニングの実際
使用する材料		
備考		
17 項	目	トレーナーの役割と臨床現場での立場
学習目標・ポイント		
使用する材料		
備考		
18 項	目	足底のコンディショニング(マッサージ、ストレッチ、ex)
学習目標・ポイント		
使用する材料		
備考		
19 項	目	下腿のコンディショニング(マッサージ、ストレッチ、ex)
学習目標・ポイント		
使用する材料		
備考		
20 項	目	大腿の筋とコンディショニング(マッサージ、ストレッチ、ex)
学習目標・ポイント		
使用する材料		
備考		
21 項	目	大腿四頭筋と大腿二頭筋のコンディショニングの考え方
学習目標・ポイント		
使用する材料		
備考		
22 項	目	大殿筋、外旋6筋を含む股関節のコンディショニング
学習目標・ポイント		
使用する材料		
備考		
23 項	目	大殿筋の筋力低下が身体に及ぼす影響
学習目標・ポイント		
使用する材料		
備考		
24 項	目	大腿筋が骨盤前後傾に及ぼす影響
学習目標・ポイント		
使用する材料		
備考		
25 項	目	腰痛の考え方とコンディショニング
学習目標・ポイント		
使用する材料		
備考		
26 項	目	体幹トレーニングの意味
学習目標・ポイント		
使用する材料		
備考		
27 項	目	円背が肩甲骨に及ぼす影響とコンディショニング
学習目標・ポイント		
使用する材料		
備考		
28 項	目	肩甲骨腕リズムと肩甲骨モビライゼーション
学習目標・ポイント		
使用する材料		
備考		
29 項	目	肩こり(前方頭位について)
学習目標・ポイント		
使用する材料		
備考		
30 項	目	実技の復習
学習目標・ポイント		
使用する材料		
備考		

年 度	令和6年度
学 科	東洋療法教員養成学科
開 講 科 目 名	あはき臨床応用学(演習)
担 当 教 員	内野容子
カ リ キ ュ ラ ム 名	東洋医学特論
単 位 数 (時 間 数)	1(30)
配 当 年 次	2年次
部	昼間部
授 業 形 態	演習
開 講 期 間	前期
授 業 概 要 ・ 目 的	あはき臨床は経験的、実証的の学問である。しかしながら現代医療において必要なエビデンスの考え方や対象疾患、禁忌を理解し、その効果やメカニズムを検証することは重要である。本演習では、あはき臨床を検証するために必要な考え方や知識を学び実践することを目的とする。
到 達 目 標	1. あはき臨床の強みと限界を知ることができる。 2. あはきの応用分野を理解しエビデンスレベルを知っている。 3. あはき臨床に対して批判的吟味ができる。
成績評価方法及び基準	【全科目共通事項】 必要出席数『「学生のしおり」Ⅰ教務(授業) 10試験について【必要出席数】』に準ずる。 レポート60%、授業内課題(プレゼンテーション等)40%、あわせて100%で評価を行う。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『「学生のしおり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教育・実務業績	【教育業績】 平成15年4月～現在まで 平成医療学園専門学校 鍼灸師科教員 平成医療学園専門学校 鍼灸師科教員として在籍 平成17年4月～平成21年3月31日 大阪大学専修学校研修員 大阪大学 歯学部 解剖学教室にて解剖を行う。 【実務業績】 平成22年4月～平成23年3月31日 大阪大学歯学部附属病院 病院研修生 大阪大学歯学部附属病院 歯科麻酔科 鍼灸研修生として在籍 頭頸部の痛みや麻痺の鍼灸治療を行う。 【研究実績】 鍼治療とB型・C型肝炎感染に関する文献レビュー 2016年8月 全日本鍼灸学会雑誌(0285-9955)66巻3号 p166-179 鍼治療と肝炎感染の関連についての文献レビューにおけるハンドサーチの重要性 システマティック・レビューの変法による検証 2017年8月 全日本鍼灸学会雑誌(0285-9955)67巻3号 p201-214

1	項目	オリエンテーション
	学習目標・ポイント	本講義の概要とスケジュール説明
	使用する材料	パワーポイント、Web、プリント等を適宜使用する
	備考	
2	項目	あはきの臨床効果について1
	学習目標・ポイント	経穴・経絡の特性についてそのエビデンスは
	使用する材料	パワーポイント、Web、プリント等を適宜使用する
	備考	
3	項目	あはきの臨床効果について2
	学習目標・ポイント	臨床医学とはなにか、あはきにおける臨床とはなにかについて議論できる。
	使用する材料	パワーポイント、Web、プリント等を適宜使用する
	備考	
4	項目	あはきのエビデンスについて
	学習目標・ポイント	あはき、または臨床医学の中でのあはきのエビデンスについて知っている。
	使用する材料	パワーポイント、Web、プリント等を適宜使用する
	備考	
5	項目	あはき臨床に関連するメカニズム
	学習目標・ポイント	痛みのメカニズムとあはきとの関連について概説できる
	使用する材料	パワーポイント、Web、プリント等を適宜使用する
	備考	
6	項目	泌尿器科疾患の鍼灸治療の効果およびエビデンスについて1
	学習目標・ポイント	エビデンスに基づく知識および技術の習得
	使用する材料	パワーポイント、Web、プリント等を適宜使用する
	備考	
7	項目	泌尿器科疾患の鍼灸治療の効果およびエビデンスについて2
	学習目標・ポイント	エビデンスに基づく知識および技術の習得
	使用する材料	パワーポイント、Web、プリント等を適宜使用する
	備考	実技
8	項目	腰・下肢疾患の鍼灸治療の効果およびエビデンスについて1
	学習目標・ポイント	エビデンスに基づく知識および技術の習得
	使用する材料	パワーポイント、Web、プリント等を適宜使用する
	備考	
9	項目	腰・下肢疾患の鍼灸治療の効果およびエビデンスについて2
	学習目標・ポイント	エビデンスに基づく知識および技術の習得
	使用する材料	パワーポイント、Web、プリント等を適宜使用する
	備考	実技
10	項目	物理療法の効果およびエビデンスについて1
	学習目標・ポイント	エビデンスに基づく知識および技術の習得
	使用する材料	パワーポイント、Web、プリント等を適宜使用する
	備考	
11	項目	物理療法の効果およびエビデンスについて2
	学習目標・ポイント	エビデンスに基づく知識および技術の習得
	使用する材料	パワーポイント、Web、プリント等を適宜使用する
	備考	実技
12	項目	プレゼンテーション
	学習目標・ポイント	本演習で学んだことに関連して自分の考えをプレゼンテーションできる
	使用する材料	パワーポイント、Web、プリント等を適宜使用する
	備考	
13	項目	プレゼンテーション
	学習目標・ポイント	本演習で学んだことに関連して自分の考えをプレゼンテーションできる
	使用する材料	パワーポイント、Web、プリント等を適宜使用する
	備考	
14	項目	プレゼンテーション
	学習目標・ポイント	本演習で学んだことに関連して自分の考えをプレゼンテーションできる
	使用する材料	パワーポイント、Web、プリント等を適宜使用する
	備考	
15	項目	復習
	学習目標・ポイント	
	使用する材料	
	備考	

年 度	令和6年度
学 科	東洋療法教員養成学科
開 講 科 目 名	臨床実習①
担 当 教 員	佐原 俊作
カ リ キ ュ ラ ム 名	臨床実習
単 位 数 (時 間 数)	6(270) うち100時間を佐原担当
配 当 年 次	2年次
部	昼間部
授 業 形 態	実習
開 講 期 間	前期・集中
授 業 概 要 ・ 目 的	付属治療院にて教員指導の下、医療面接、診察により、病態把握し、適切な治療を行える知識や技術を養う。
到 達 目 標	①基本的な患者対応、医療面接から治療までの一連の流れとして行える。 ②患者の苦痛を理解し、医療従事者としてのモラルと使命感を身につける。 ③観察した症例を正確に記入し、病態や治療方針について他者に説明ができる。 ④症例数70例以上、症例報告を作成する。
成績評価方法及び基準	【全科目共通事項】 必要出席数『「学生のしおり」Ⅰ教務(授業) 10試験について【必要出席数】』に準ずる。 出席状況や実習態度で評価を行う。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『「学生のしおり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 授業の妨害(私語、多科目の勉強、寝る)は、口頭で注意する。
教 育 ・ 実 務 業 績	【教育業績】 2013年4月～2017年3月:京都府立視力障害者福祉センターにて鍼灸科講義を担当 2017年4月～2021年3月:札幌スポーツ&メディカル専門学校にて鍼灸科講義を担当 【実務業績】 2011年4月～2013年3月:明治国際医療大学附属鍼灸センターでの施術(大学院生) 2013年4月～2017年3月:京都府立視力障害者福祉センター付属治療院での施術 2018年5月～2021年3月:札幌スポーツ&メディカル専門学校付属鍼灸院での施術 【研究実績】 2012年 全日本鍼灸学会学術大会 一般発表 2012年 全日本鍼灸学会近畿支部学術大会 一般発表 2012年 日本線維筋痛症学会学術集会 一般発表 2013年 全日本鍼灸学会近畿支部学術大会 一般発表 2015年 東洋療法試験財団研究費 「鍼灸師・マッサージ師のための痛み学習システム」の構築 研究班員 2015年 東洋療法試験財団研究費 「鍼灸師・あんまマッサージ師」のための痛み学習の習得状況に関する評価システム」の開発 研究班員

1 項 目	1～50 施術所における実習を行う。
学習目標・ポイント	教員指導の下、患者に医療面接、診察により、病態把握し、適切な治療を行う。 カルテに正しく記入し、鍼灸師科学生に病態や治療方針について説明や指導を行う。 患者の苦痛を理解し、医療従事者としてのモラルと使命感を身につける。
使用する材料 備 考	

年 度	令和6年度
学 科	東洋療法教員養成学科
開 講 科 目 名	臨床実習②
担 当 教 員	久保 益秀
カリキュラム名	臨床実習
単 位 数 (時 間 数)	6(270) うち110時間を久保が担当
配 当 年 次	2年次
部	昼間部
授 業 形 態	実習
開 講 期 間	通年
授 業 概 要 ・ 目 的	付属治療院にて教員指導の下、医療面接、診察により、病態把握し、適切な治療を行える知識や技術を養う。
到 達 目 標	①基本的な患者対応、医療面接から治療までの一連の流れとして行える。 ②患者の苦痛を理解し、医療従事者としてのモラルと使命感を身につける。 ③観察した症例を正確に記入し、病態や治療方針について他者に説明ができる。 ④症例数70例以上、症例報告を作成する。
成績評価方法及び基準	【全科目共通事項】 必要出席数『学生のしおり』I 教務(授業) 10試験について【必要出席数】』に準ずる。 出席状況や実習態度で評価を行う。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『学生のしおり』Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 授業の妨害(私語、多科目の勉強、寝る)は、口頭で注意する。
教 育 ・ 実 務 業 績	【教育業績】 平成15年4月～平成24年3月 平成医療学園専門学校 鍼灸師科非常勤講師 東洋医学臨床論を担当 平成15年6月～現在 平成医療学園専門学校 特別講義非常勤講師 手技療法・鍼灸臨床実技を担当 平成24年4月～平成31年3月 平成医療学園専門学校 東洋療法教員養成学科非常勤講師 鍼灸臨床実技を担当 【実務業績】 平成元年5月～平成6年4月 木村クリニック リハビリテーション科に 鍼灸師・あん摩マッサージ指圧師として勤務 平成6年5月～平成9年1月 久保整骨院(大阪府中央区) 開院 院長として勤務 平成9年2月～現在 久保整骨院(岸和田市) 開院 院長として勤務 平成24年10月～現在 久保鍼灸マッサージ院 開院 院長として勤務 【研究実績】 肥満遺伝子に関わる遺伝体質と東洋医学的所見(自覚的所見)による体質との関連性について 平成27年10月 第22回日本未病システム学会 学術総会一般発表 東洋医学的体質とBMIとの関連性について 平成27年12月 第14回日本栄養改善学会近畿支部 学術総会一般発表 東洋医学的体質とBMI、生活習慣、食嗜好、食行動との関連 平成28年6月 第52回日本循環器病予防学会 学術集会一般発表 BMI型肥満に陥りやすい「胃熱体質」者の行動因子及び肥満関連遺伝子との関係性について 平成29年11月 第24回日本未病システム学会 学術総会一般発表

1 項 目	1～55 施術所における実習を行う。
学習目標・ポイント	教員指導の下、患者に医療面接、診察により、病態把握し、適切な治療を行う。 カルテに正しく記入し、鍼灸師科学生に病態や治療方針について説明や指導を行う。 患者の苦痛を理解し、医療従事者としてのモラルと使命感を身につける。
使用する材料 備 考	

年 度	令和6年度
学 科	東洋療法教員養成学科
開 講 科 目 名	臨床実習③
担 当 教 員	奈良 上眞
カ リ キ ュ ラ ム 名	臨床実習
単 位 数 (時 間 数)	6(270) うち60時間を奈良が担当
配 当 年 次	2年次
部	昼間部
授 業 形 態	実習
開 講 期 間	後期
授 業 概 要 ・ 目 的	中医学基礎理論に基づいた鍼灸臨床ができることを目的とする。また、四診法に基づいた診察法を客観評価でき、収集した身体情報を弁証分析し、治療方針を明確にし、鍼灸配穴(理由を明確)を確定することを目的とする。
到 達 目 標	中医学基礎理論が理解できる。中医診察技法(舌脈診法)を実践し演じることができる。弁証分析や治療方針を確定し説明できる。鍼灸配穴を配穴理由を明確に説明することができる。総合的に中医学の観点から症例報告ができる。
成績評価方法及び基準	【全科目共通事項】 必要出席数『「学生のしおり」I 教務(授業) 10試験について【必要出席数】』に準ずる。 単位認定試験を70%、各授業でのカルテ作成の提出を30%合わせて100%で評価を行う。 (尚、カルテ作成は、症例作成とする。症例数は15症例とする)
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『「学生のしおり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと。 無断で教室からの退出を禁止する。水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。 中医学基礎理論に基づいた鍼灸臨床実習を実施するので、事前に、中医学基礎理論を学び直しのこと。
教育・実務業績	1. 担当科目における教育上の業績 2009(平成21)年4月～2020(令和3)年3月。 大阪医療技術学園専門学校において東洋医療技術教員養成学科教員および学科長として勤務。 東洋医学特論、鍼灸臨床学、鍼灸応用学、鍼灸臨床実習、原典(古典)閲読を担当する。 2. 実務上の業績(臨床経験等) 2004平成16)年4月～現在 奈良鍼灸治療院青雲堂にて鍼灸師、院長として勤務。 3. 研究業績(執筆) 1) 鍼灸医学大辞典:奈良上眞ら(共著), 医歯薬出版, 2012年。 2) 鍼灸美容学:奈良上眞ら(共著), 静風社, 2016年。 3) 小児鍼の伝承技術の考察 ―暗黙知から形式知への検討―:奈良上眞, 日本小児はり学会会誌, 2019。 4) 意念・意守をもちいた補瀉手技:奈良上眞, 中医臨床, 2012年。 5) 婦人科疾患における中医診療の実際:奈良上眞, 日本良導絡自律神経学会雑誌, 2006年。 6) 中医学の臨床・基礎知識:鍼灸OSAKA, 1998年。 7) 「得気」(鍼のひびき)についての文献的考察:奈良上眞, 明治鍼灸医学, 1991年。

1	項 目	中医学基礎理論に基づいた、鍼灸臨床実習。
	学習目標・ポイント	中医学基礎理論に基づいた鍼灸臨床の基本概要から臨床応用が理解できる。
	使用する材料	配布資料
	備 考	中医学基礎理論の基本概要を理解していること。
2	項 目	鍼灸臨床実習、管鍼法による基本操作。
	学習目標・ポイント	中医学基礎理論に基づいた、鍼灸臨床実習。管鍼法による基本操作ができる。
	使用する材料	配布資料、鍼灸臨床衛生道具、鍼灸針(1寸1番、1寸3番)。
	備 考	管鍼法の基本操作を事前に練習していること。
3	項 目	中医学基礎理論に基づいた、鍼灸臨床実習。
	学習目標・ポイント	中医学基礎理論に基づいた鍼灸臨床の基本概要から臨床応用が理解できる。
	使用する材料	配布資料
	備 考	中医学基礎理論の基本概要を理解していること。
4	項 目	鍼灸臨床実習、中医学鍼灸刺鍼法の基本操作。
	学習目標・ポイント	中医学基礎理論に基づいた、鍼灸臨床実習。中国式刺鍼法による基本操作ができる。
	使用する材料	配布資料、鍼灸臨床衛生道具、鍼灸針(1寸1番、1寸3番)。
	備 考	刺鍼の基本操作を事前に練習していること。
5	項 目	中医学基礎理論に基づいた、鍼灸臨床実習。特に、中医学診察法(舌診)について。
	学習目標・ポイント	中医学診察法、舌診察法が理解できる。
	使用する材料	配布資料。
	備 考	中医学診察法、舌診察法の基本を理解していること。
6	項 目	鍼灸臨床実習、特に、舌診法基礎について。
	学習目標・ポイント	中医学診察法、舌診察法を演じることができ、基本的病証を説明できる。
	使用する材料	配布資料、鍼灸臨床衛生道具、鍼灸針(1寸1番、1寸3番)。
	備 考	中医学診察法、舌診察法の基本を理解していること。
7	項 目	中医学基礎理論に基づいた、鍼灸臨床実習。特に、中医学診察法(脈診)について。
	学習目標・ポイント	中医学診察法、脈診察法が理解できる。
	使用する材料	配布資料。
	備 考	中医学診察法、脈診察法の基本を理解していること。
8	項 目	鍼灸臨床実習、特に、脈状診法基礎について。
	学習目標・ポイント	中医学診察法、脈診察法を演じることができ、脈状および基本的病証を説明できる。
	使用する材料	配布資料、鍼灸臨床衛生道具、鍼灸針(1寸1番、1寸3番)。
	備 考	中医学診察法、脈診察法の基本を理解していること。
9	項 目	中医学基礎理論に基づいた、鍼灸臨床実習。特に、経脈、経筋の基本概念について。
	学習目標・ポイント	中医学基礎理論に基づいた鍼灸臨床、特に、経脈、経筋の基本概念が理解できる。
	使用する材料	配布資料
	備 考	基本的経脈流注および要穴表を理解していること。
10	項 目	鍼灸臨床実習、中医学鍼灸刺鍼法の基本操作。特に、経穴反応、経穴診察法。
	学習目標・ポイント	中医学診察法、経穴診察法を演じることができ、経穴反応の基本的病証を説明できる。
	使用する材料	配布資料、鍼灸臨床衛生道具、鍼灸針(1寸1番、1寸3番)。
	備 考	基本的経脈流注および要穴表を理解していること。
11	項 目	中医学基礎理論に基づいた、鍼灸臨床実習。特に、肝系病症の基礎について。
	学習目標・ポイント	中医学基礎理論に基づいた鍼灸臨床、特に、基本的肝系病症が理解できる。
	使用する材料	配布資料
	備 考	中医学的肝の基本的生理機能を理解していること。
12	項 目	鍼灸臨床実習、特に、一般症状(肩こり)に対する遠隔療法。
	学習目標・ポイント	遠隔的に一般症状(肩こり)の鍼灸治療を演じることができる。
	使用する材料	配布資料、鍼灸臨床衛生道具、鍼灸針(1寸1番、1寸3番)。
	備 考	肩こりに対する遠隔的鍼灸治療法を検討しておくこと。
13	項 目	中医学基礎理論に基づいた、鍼灸臨床実習。特に、腎系病症の基礎について。
	学習目標・ポイント	中医学基礎理論に基づいた鍼灸臨床、特に、基本的腎系病症が理解できる。
	使用する材料	配布資料
	備 考	中医学的腎の基本的生理機能を理解していること。
14	項 目	鍼灸臨床実習、特に、一般症状(腰痛)に対する遠隔療法。
	学習目標・ポイント	遠隔的に一般症状(腰痛)の鍼灸治療を演じることができる。
	使用する材料	配布資料、鍼灸臨床衛生道具、鍼灸針(1寸1番、1寸3番)。
	備 考	腰痛に対する遠隔的鍼灸治療法を検討しておくこと。
15	項 目	中医学基礎理論に基づいた、鍼灸臨床実習。特に、脾系病症の基礎について。
	学習目標・ポイント	中医学基礎理論に基づいた鍼灸臨床、特に、基本的脾系病症が理解できる。
	使用する材料	配布資料
	備 考	中医学的脾の基本的生理機能を理解していること。

16 項	目	鍼灸臨床実習, 特に, 一般症状(肩関節痛) に対する遠隔療法.
学習目標・ポイント		遠隔的に一般症状(肩関節痛) の鍼灸治療を演じることができる.
使用する材料		配布資料, 鍼灸臨床衛生道具, 鍼灸針(1寸1番, 1寸3番).
備考		肩関節痛に対する遠隔的鍼灸治療法を検討しておくこと.
17 項	目	中医学基礎理論に基づいた, 鍼灸臨床実習, 特に, 肺系病症の基礎 について.
学習目標・ポイント		中医学基礎理論に基づいた鍼灸臨床, 特に, 基本的肺系病症 が理解できる.
使用する材料		配布資料
備考		中医学的肺の基本的生理機能を理解していること.
18 項	目	鍼灸臨床実習, 特に, 一般症状(膝痛) に対する遠隔療法(巨刺法).
学習目標・ポイント		遠隔的に一般症状(膝痛) の鍼灸治療を演じることができる.
使用する材料		配布資料, 鍼灸臨床衛生道具, 鍼灸針(1寸1番, 1寸3番).
備考		膝痛に対する遠隔的鍼灸治療法を検討しておくこと.
19 項	目	中医学基礎理論に基づいた, 鍼灸臨床実習, 特に, 鍼灸配穴の基礎 について.
学習目標・ポイント		中医学基礎理論に基づいた鍼灸臨床, 特に, 基本的鍼灸配穴 が理解できる.
使用する材料		配布資料
備考		要穴表による鍼灸治療法を検討しておくこと.
20 項	目	鍼灸臨床実習, 特に, 五臓弁証分析 に対する鍼灸療法.
学習目標・ポイント		鍼灸診療における 五臓弁証分析 を演じることができ, 分析鑑別要点 を説明できる.
使用する材料		配布資料, 鍼灸臨床衛生道具, 鍼灸針(1寸1番, 1寸3番).
備考		八綱, 臓腑の鑑別要点を検討しておくこと.
21 項	目	中医学基礎理論に基づいた, 鍼灸臨床実習, 特に, 肝系病症の応用 について.
学習目標・ポイント		中医学基礎理論に基づいた鍼灸臨床, 特に, 応用的肝系病症 が理解できる.
使用する材料		配布資料
備考		中医学的肝の基本的病理機序を理解していること.
22 項	目	鍼灸臨床実習, 特に, 接触鍼法(小里式鍍鍼, 調気鍍鍼) の基本操作.
学習目標・ポイント		接触鍼法(小里式鍍鍼, 調気鍍鍼) の基本操作を演じることができ, 脈状の変化を確認できる.
使用する材料		配布資料, 鍼灸臨床衛生道具, 鍼灸針(1寸1番, 1寸3番).
備考		基本的接触鍼法を理解していること.
23 項	目	中医学基礎理論に基づいた, 鍼灸臨床実習, 特に, 腎系病症の応用 について.
学習目標・ポイント		中医学基礎理論に基づいた鍼灸臨床, 特に, 応用的腎系病症 が理解できる.
使用する材料		配布資料
備考		中医学的腎の基本的病理機序を理解していること.
24 項	目	鍼灸臨床実習, 特に, 中医鍼灸技法, 単式補瀉法 .
学習目標・ポイント		中医鍼灸技法, 単式補瀉法 を演じることができる.
使用する材料		配布資料, 鍼灸臨床衛生道具, 鍼灸針(1寸1番, 1寸3番).
備考		基本的補瀉法を理解していること.
25 項	目	中医学基礎理論に基づいた, 鍼灸臨床実習, 特に, 脾系病症の応用 について.
学習目標・ポイント		中医学基礎理論に基づいた鍼灸臨床, 特に, 応用的脾系病症 が理解できる.
使用する材料		配布資料
備考		中医学的脾の基本的病理機序を理解していること.
26 項	目	鍼灸臨床実習, 特に, 中医鍼灸技法, 複式補瀉法 .
学習目標・ポイント		中医鍼灸技法, 複式補瀉法 を演じることができる.
使用する材料		配布資料, 鍼灸臨床衛生道具, 鍼灸針(1寸1番, 1寸3番).
備考		基本的補瀉法を理解していること.
27 項	目	中医学基礎理論に基づいた, 鍼灸臨床実習, 特に, 肺系病症の応用 について.
学習目標・ポイント		中医学基礎理論に基づいた鍼灸臨床, 特に, 応用的肺系病症 が理解できる.
使用する材料		配布資料
備考		中医学的肺の基本的病理機序を理解していること.
28 項	目	鍼灸臨床実習, 特に, 焼山火法, 透天涼法 .
学習目標・ポイント		中医鍼灸技法, 焼山火法, 透天涼法 を演じることができる.
使用する材料		配布資料, 鍼灸臨床衛生道具, 鍼灸針(1寸1番, 1寸3番).
備考		基本的補瀉法を理解していること.
29 項	目	中医学基礎理論に基づいた, 鍼灸臨床実習, 総合まとめ .
学習目標・ポイント		中医学基礎理論に基づいた鍼灸臨床, 特に, 総合的五臓病症 が理解できる.
使用する材料		配布資料
備考		中医学的五臓の総合的病理機序を理解していること.
30 項	目	鍼灸臨床実習, 意念意守鍼灸療法 .
学習目標・ポイント		中医鍼灸技法, 基本的 意念意守鍼灸療法 を演じることができる.
使用する材料		配布資料, 鍼灸臨床衛生道具, 鍼灸針(1寸1番, 1寸3番).
備考		意念意守の基本概念を理解していること.

年 度	令和6年度
学 科	東洋療法教員養成学科
開 講 科 目 名	はりきゅうケースカンファレンス
担 当 教 員	久保 益秀
カ リ キ ュ ラ ム 名	臨床実習
単 位 数 (時 間 数)	1(45)
配 当 年 次	2年次
部	昼間部
授 業 形 態	実習
開 講 期 間	集中・後期
授 業 概 要 ・ 目 的	付属治療院にて行った治療に対し事例検討を行い、解決すべき内容を含み事実について、その状況・原因・対策を明らかにする。
到 達 目 標	①ケースカンファレンスによって患者の理解を深め、そこを起点として対人援助の視点から今後の援助または治療方針を導き出す。 ②自身の症例を発表することによって、プレゼンテーション能力を高める。 ③他者の症例を検討することによって、分析・検討・治療方針計画の実践力を高める。
成績評価方法及び基準	【全科目共通事項】 必要出席数『「学生のしおり」I 教務(授業) 10試験について【必要出席数】』に準ずる。 出席状況や実習態度で評価を行う。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『「学生のしおり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 授業の妨害(私語、多科目の勉強、寝る)は、口頭で注意する。
教 育 ・ 実 務 業 績	【教育業績】 平成15年4月～平成24年3月 平成医療学園専門学校 鍼灸師科非常勤講師 東洋医学臨床論を担当 平成15年6月～現在 平成医療学園専門学校 特別講義非常勤講師 手技療法・鍼灸臨床実技を担当 平成24年4月～平成30年3月 平成医療学園専門学校 東洋療法教員養成学科非常勤講師 鍼灸臨床実技を担当 【実務業績】 平成元年5月～平成6年4月 木村クリニック リハビリテーション科に 鍼灸師・あん摩マッサージ指圧師として勤務 平成6年5月～平成9年1月 久保整骨院(大阪府中央区) 開院 院長として勤務 平成9年2月～現在 久保整骨院(岸和田市) 開院 院長として勤務 平成24年10月～現在 久保鍼灸マッサージ院 開院 院長として勤務 【研究実績】 肥満遺伝子に関わる遺伝体質と東洋医学的所見(自覚的所見)による体質との関連性について 平成27年10月 第22回日本未病システム学会 学術総会一般発表 東洋医学的体質とBMIとの関連性について 平成27年12月 第14回日本栄養改善学会近畿支部 学術総会一般発表 東洋医学的体質とBMI、生活習慣、食嗜好、食行動との関連 平成28年6月 第52回日本循環器病予防学会 学術集会一般発表 BMI型肥満に陥りやすい「胃熱体質」者の行動因子及び肥満関連遺伝子との関係性について 平成29年11月 第24回日本未病システム学会 学術総会一般発表

1 項 目	1~23 自ら担当した患者の症例を発表し、客観的に症例について再度検討を行う。
学習目標・ポイント	教員指導の下、症例をもとに、病態把握や治療方針、治療方法について検討をおこなう。 患者の苦痛を理解し、医療従事者としてのモラルと使命感を身につける。 発表を通じてプレゼンテーション能力を養う。 客観的に症例を検討することによって、分析・検討・実践力を高める。
使用する材料 備 考	

年 度	令和6年度
学 科	東洋療法教員養成学科
開 講 科 目 名	研究法
担 当 教 員	比嘉翔平
カ リ キ ュ ラ ム 名	研究とその方法
単 位 数 (時 間 数)	2(30)
配 当 年 次	2年度
部	昼間部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	前期
授 業 概 要 ・ 目 的	研究について知り、自ら研究計画の立案ができる。
到 達 目 標	研究手法と研究倫理について理解し、仮設の設定、それに関連した文献の調査、研究計画の立案と実践(仮説と検証)ができる。
成績評価方法及び基準	<p>【全科目共通事項】 必要出席数『「学生のしおり」I 教務(授業) 10試験について【必要出席数】』に準ずる。</p> <p>プレゼンテーション(40%)と研究計画の作成(60%)で100%の評価を行う。</p>
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	<p>【全科目共通事項】 『「学生のしおり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。</p>
教育・実務業績	<p>1、担当科目における教育上の業績 2018年4月～2020年3月: 明治国際医療大学大学院修士課程にて臨床鍼灸学を専攻 2018年4月～2020年3月: 明治国際医療大学附属鍼灸センター実習(3年生)の臨床実習指導 2018年4月～2021年3月: 明治国際医療大学にて講義・演習補助 科目: 「臨床はりきゅう技術学Ⅱ 治効機序」および「キャリアデザイン」 2020年4月～2023年3月: 明治国際医療大学大学院博士課程にて鍼灸学を専攻 2023年4月～ : 平成医療学園専門学校にて鍼灸師科講義を担当</p> <p>2、実務上の業績(臨床経験等) 2018年4月～2023年3月: 明治国際医療大学附属鍼灸センターでの施術(大学院生) 2019年4月～2021年9月: 京都桂川鍼灸院mythos361での施術(大学院)</p> <p>3、研究業績 2018年: 第67回全日本鍼灸学会学術大会 大阪大会 学生ポスター発表(優秀賞) 2019年: 第68回全日本鍼灸学会学術大会 愛知大会 一般ポスター発表 2021年: 第50回日本慢性疼痛学会 口演発表(Web発表) 2022年: 第44回日本疼痛学会・第2回日本術後痛学会 口演発表 2023年: 第72回全日本鍼灸学会学術大会 神戸大会 口演発表</p>

1 項 目	オリエンテーション
学習目標・ポイント	講義の概要、注意事項、スケジュールなど
使用する材料	プリント
備考	
2 項 目	研究とは
学習目標・ポイント	研究の概要(研究倫理など)
使用する材料	プリント
備考	
3 項 目	リサーチクエスションとは
学習目標・ポイント	リサーチクエスションについて理解する。
使用する材料	プリント
備考	
4 項 目	研究デザインについて
学習目標・ポイント	研究デザインの種類、選択、特徴について理解する。
使用する材料	プリント
備考	
5 項 目	統計解析について①
学習目標・ポイント	統計手法について理解する。
使用する材料	PC等のデバイス
備考	
6 項 目	統計解析について②
学習目標・ポイント	統計手法を選択できる。
使用する材料	PC等のデバイス
備考	
7 項 目	統計解析について③
学習目標・ポイント	統計手法を実践できる。
使用する材料	PC等のデバイス
備考	
8 項 目	文献検索について
学習目標・ポイント	文献の検索方法について理解する。
使用する材料	プリント、PC等のデバイス
備考	
9 項 目	論文について①
学習目標・ポイント	論文の構造について理解する。
使用する材料	PC等のデバイス
備考	
10 項 目	論文について②
学習目標・ポイント	論文を要約できる(PICO/PECO)
使用する材料	PC等のデバイス
備考	
11 項 目	研究計画①
学習目標・ポイント	仮説の設定ができる。
使用する材料	PC等のデバイス
備考	
12 項 目	研究計画②
学習目標・ポイント	関連文献を検索する。
使用する材料	PC等のデバイス
備考	
13 項 目	研究計画③
学習目標・ポイント	研究計画を立案する。
使用する材料	PC等のデバイス
備考	
14 項 目	研究計画④
学習目標・ポイント	研究計画を立案する。
使用する材料	PC等のデバイス
備考	
15 項 目	研究計画⑤
学習目標・ポイント	自身の研究計画のプレゼンができる。
使用する材料	PC等のデバイス
備考	

年 度	令和6年度
学 科	東洋療法教員養成学科
開 講 科 目 名	卒業論文
担 当 教 員	内野 容子
カリキュラム名	研究とその方法
単 位 数 (時 間 数)	4(60)
配 当 年 次	2年次
部	昼間部
授 業 形 態	実習
開 講 期 間	通年
授 業 概 要 ・ 目 的	教員の指導のもとで研究活動を行い、情報収集、吟味、データ集積、整理、分析、論文作成に関する一連の作業を、実践を通じて修得する。
到 達 目 標	①自らの研究テーマを立案することが出来る。 ②文献等の検索、収集を実践できる。 ③情報を吟味し、必要なものを選択することが出来る。 ④適切な研究計画を作成することが出来る。 ⑤研究を計画的に実践し、必要なデータを客観的に収集できる。 ⑥目的に準じた結果を適切に解釈し、論理的に文章化することが出来る。
成績評価方法及び基準	【全科目共通事項】 必要出席数『学生のしおり』I 教務(授業) 10試験について【必要出席数】』に準ずる。 出席状況や実習態度、提出物(卒業論文)で評価を行う。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『「学生のしおり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 授業の妨害(私語、多科目の勉強、寝る)は、口頭で注意する。
教 育 ・ 実 務 業 績	【教育業績】 平成15年4月～現在まで 平成医療学園専門学校 鍼灸師科教員 平成医療学園専門学校 鍼灸師科教員として在籍 平成17年4月～平成21年3月31日 大阪大学専修学校研修員 大阪大学 歯学部 解剖学教室にて解剖を行う。 【実務業績】 平成22年4月～平成23年3月31日 大阪大学歯学部附属病院 病院研修生 大阪大学歯学部附属病院 歯科麻酔科 鍼灸研修生として在籍 頭頸部の痛みや麻痺の鍼灸治療を行う。 【研究実績】 鍼治療とB型・C型肝炎感染に関する文献レビュー 2016年8月 全日本鍼灸学会雑誌(0285-9955)66巻3号 p166-179 鍼治療と肝炎感染の関連についての文献レビューにおけるハンドサーチの重要性 システマティック・レビューの変法による検証 2017年8月 全日本鍼灸学会雑誌(0285-9955)67巻3号 p201-214

1	項目	授業ガイダンス
	学習目標・ポイント	卒業論文作成までの流れ説明
	使用する材料	
	備考	
2	項目	卒業論文の書き方について
	学習目標・ポイント	論文規定についてデータベース検索の方法について
	使用する材料	
	備考	
3	項目	卒業論文の書き方について
	学習目標・ポイント	論文規定についてデータベース検索の方法について
	使用する材料	
	備考	
4	項目	研究テーマの検討
	学習目標・ポイント	興味のあるいくつかのテーマを決めデータベース検索を行う
	使用する材料	
	備考	
5	項目	研究計画の作成
	学習目標・ポイント	実際にテーマを決め計画を立てる
	使用する材料	
	備考	
6	項目	研究計画の作成
	学習目標・ポイント	実際にテーマを決め計画を立てる
	使用する材料	
	備考	
7	項目	研究計画の作成
	学習目標・ポイント	実際にテーマを決め計画を立てる
	使用する材料	
	備考	
8	項目	研究計画の報告
	学習目標・ポイント	目的・方法を提出
	使用する材料	
	備考	
9	項目	事前研究
	学習目標・ポイント	各自テーマに沿った研究を行う
	使用する材料	
	備考	
10	項目	事前研究
	学習目標・ポイント	各自テーマに沿った研究を行う
	使用する材料	
	備考	
11	項目	研究計画の再検討
	学習目標・ポイント	
	使用する材料	
	備考	
12	項目	研究
	学習目標・ポイント	
	使用する材料	
	備考	
13	項目	研究
	学習目標・ポイント	
	使用する材料	
	備考	
14	項目	中間報告
	学習目標・ポイント	
	使用する材料	
	備考	
15	項目	研究及び論文作成
	学習目標・ポイント	
	使用する材料	
	備考	

年 度	令和6年度
学 科	東洋療法教員養成学科
開 講 科 目 名	卒業論文
担 当 教 員	内野 容子
カ リ キ ュ ラ ム 名	研究とその方法
単 位 数 (時 間 数)	4(60)
配 当 年 次	2年次
部	昼間部
授 業 形 態	実習
開 講 期 間	通年
授 業 概 要 ・ 目 的	教員の指導のもとで研究活動を行い、情報収集、吟味、データ集積、整理、分析、論文作成に関する一連の作業を、実践を通じて修得する。
到 達 目 標	①自らの研究テーマを立案することが出来る。 ②文献等の検索、収集を実践できる。 ③情報を吟味し、必要なものを選択することが出来る。 ④適切な研究計画を作成することが出来る。 ⑤研究を計画的に実践し、必要なデータを客観的に収集できる。 ⑥目的に準じた結果を適切に解釈し、論理的に文章化することが出来る。
成績評価方法及び基準	【全科目共通事項】 必要出席数『学生のしおり』I 教務(授業) 10試験について【必要出席数】』に準ずる。 出席状況や実習態度、提出物(卒業論文)で評価を行う。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『「学生のしおり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 授業の妨害(私語、多科目の勉強、寝る)は、口頭で注意する。
教 育 ・ 実 務 業 績	【教育業績】 平成15年4月～現在まで 平成医療学園専門学校 鍼灸師科教員 平成医療学園専門学校 鍼灸師科教員として在籍 平成17年4月～平成21年3月31日 大阪大学専修学校研修員 大阪大学 歯学部 解剖学教室にて解剖を行う。 【実務業績】 平成22年4月～平成23年3月31日 大阪大学歯学部附属病院 病院研修生 大阪大学歯学部附属病院 歯科麻酔科 鍼灸研修生として在籍 頭頸部の痛みや麻痺の鍼灸治療を行う。 【研究実績】 鍼治療とB型・C型肝炎感染に関する文献レビュー 2016年8月 全日本鍼灸学会雑誌(0285-9955)66巻3号 p166-179 鍼治療と肝炎感染の関連についての文献レビューにおけるハンドサーチの重要性 システマティック・レビューの変法による検証 2017年8月 全日本鍼灸学会雑誌(0285-9955)67巻3号 p201-214

16 項	目	研究及び論文作成
学習目標・ポイント		
使用する材料		
備考		
17 項	目	研究及び論文作成
学習目標・ポイント		
使用する材料		
備考		
18 項	目	研究及び論文作成
学習目標・ポイント		
使用する材料		
備考		
19 項	目	研究及び論文作成
学習目標・ポイント		
使用する材料		
備考		
20 項	目	研究及び論文作成
学習目標・ポイント		
使用する材料		
備考		
21 項	目	研究及び論文作成
学習目標・ポイント		
使用する材料		
備考		
22 項	目	研究及び論文作成
学習目標・ポイント		
使用する材料		
備考		
23 項	目	研究及び論文作成
学習目標・ポイント		
使用する材料		
備考		
24 項	目	研究及び論文作成
学習目標・ポイント		
使用する材料		
備考		
25 項	目	論文発表
学習目標・ポイント		
使用する材料		
備考		
26 項	目	論文発表
学習目標・ポイント		
使用する材料		
備考		
27 項	目	論文修正
学習目標・ポイント		
使用する材料		
備考		
28 項	目	論文修正
学習目標・ポイント		
使用する材料		
備考		
29 項	目	製本作業
学習目標・ポイント		
使用する材料		
備考		
30 項	目	提出振り返り
学習目標・ポイント		
使用する材料		
備考		